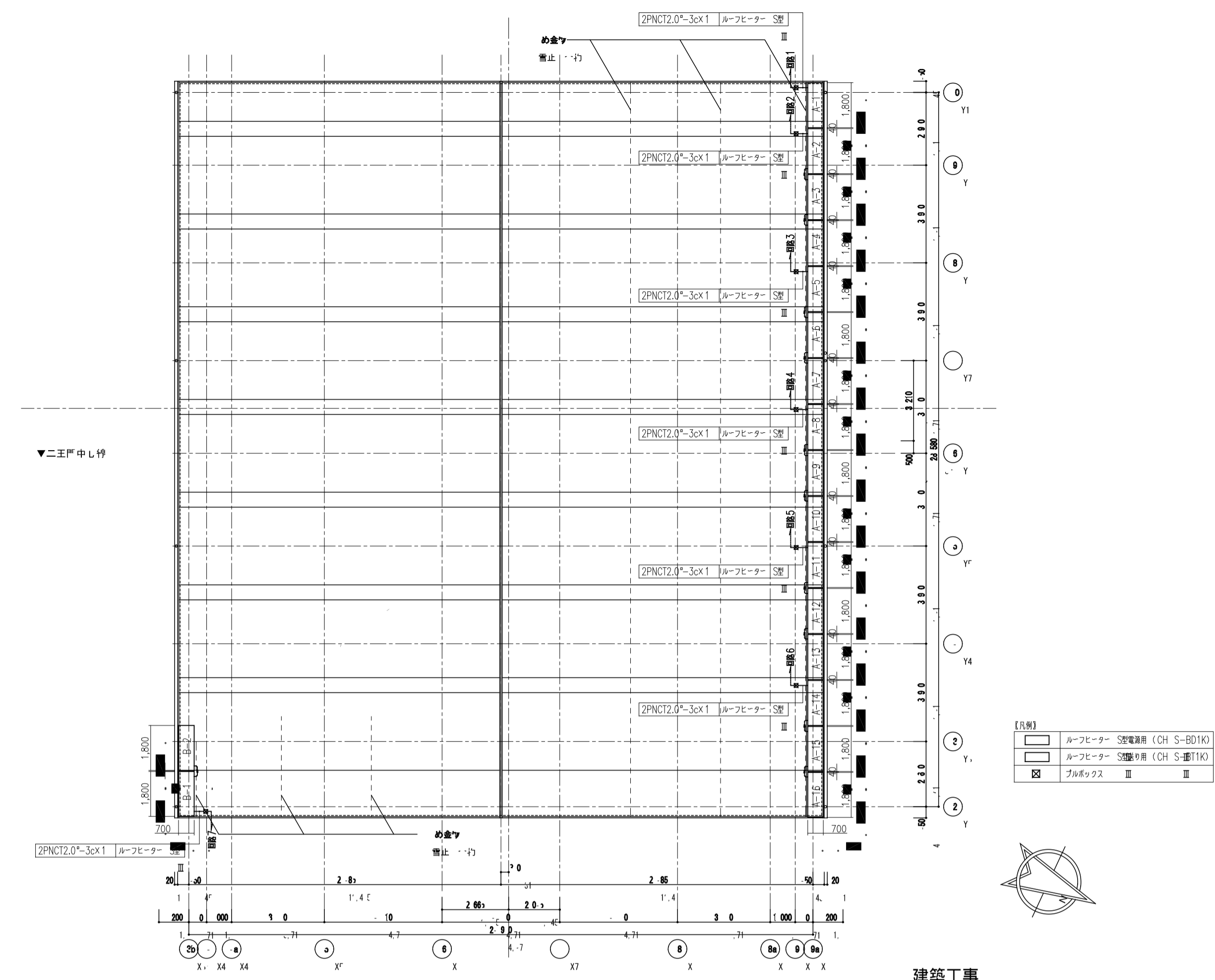
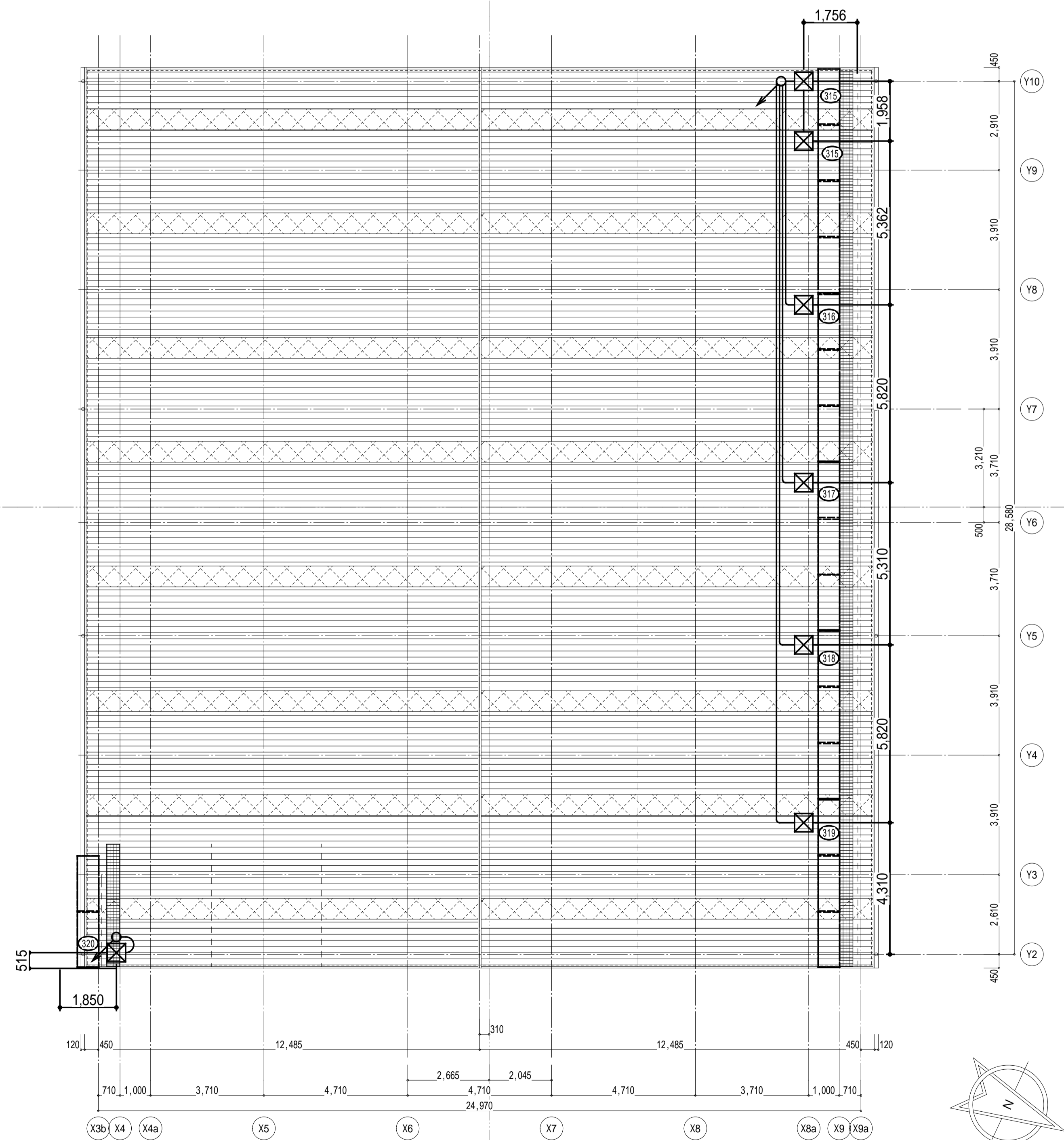


二王門中心線

二王門中心線

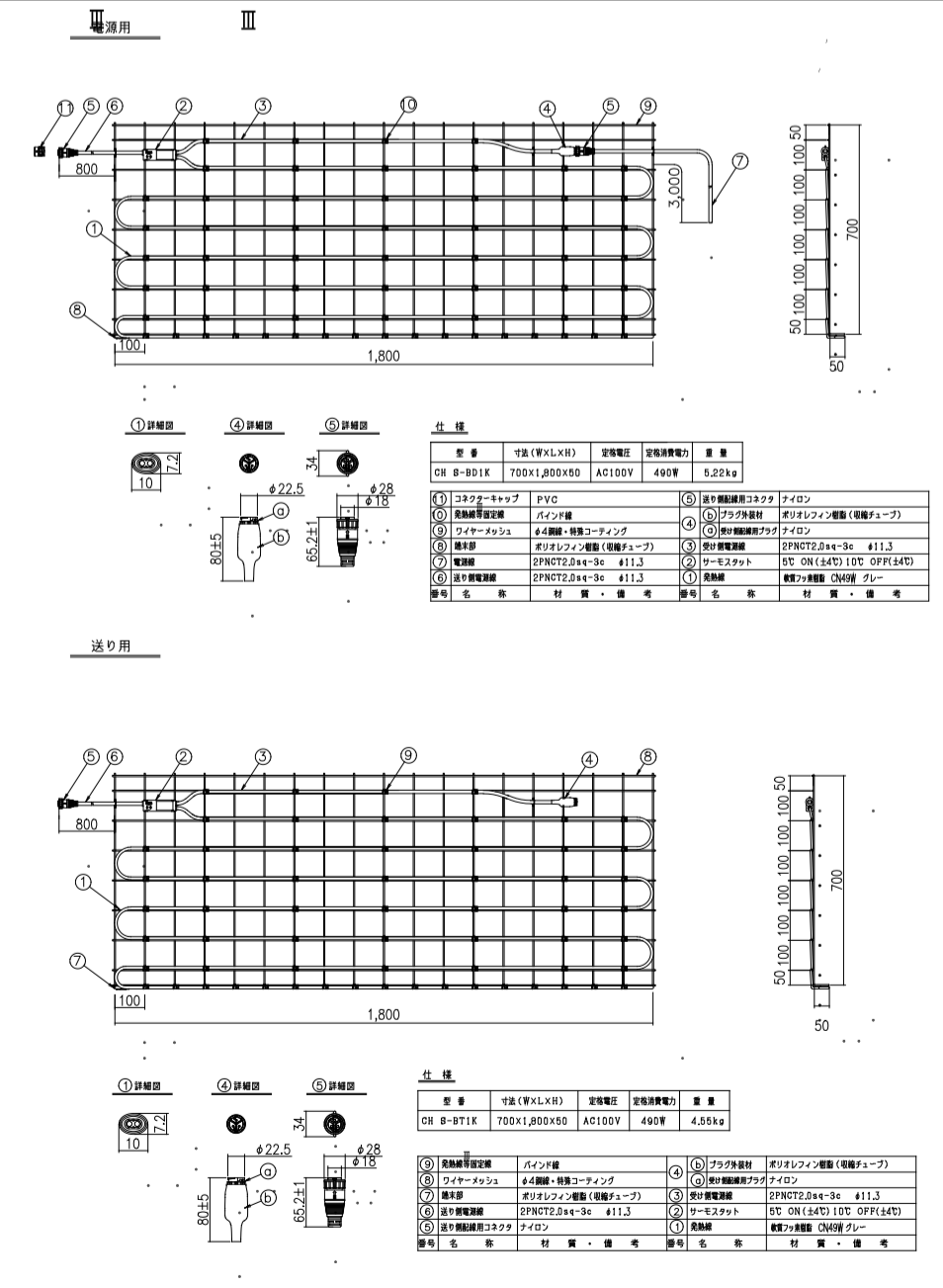


- 【凡例】
- ルーフヒーター 空電線用 (CH S-BD1K)
 - ルーフヒーター 空電線用 (CH S-SD1TK)
 - プラグボックス

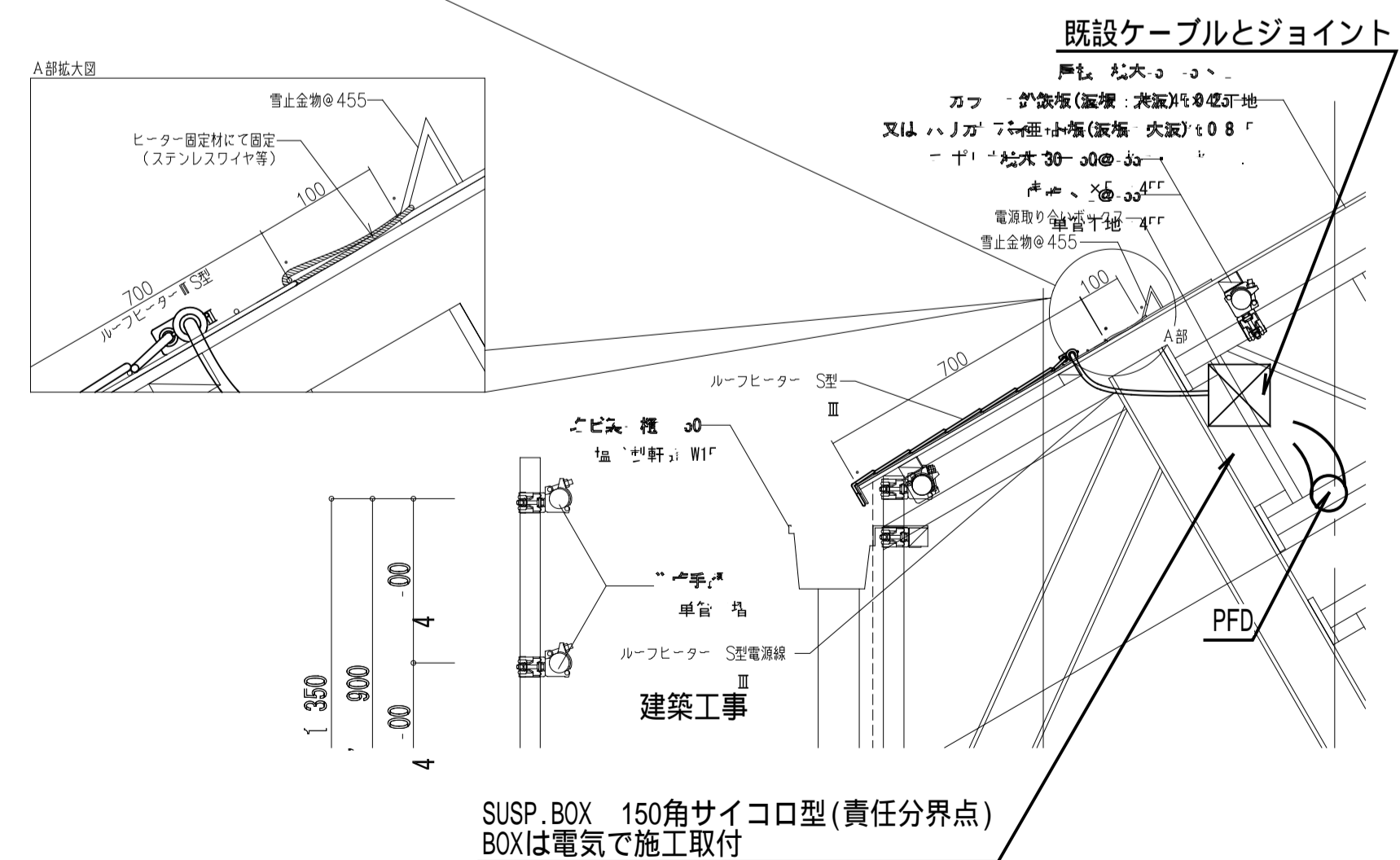
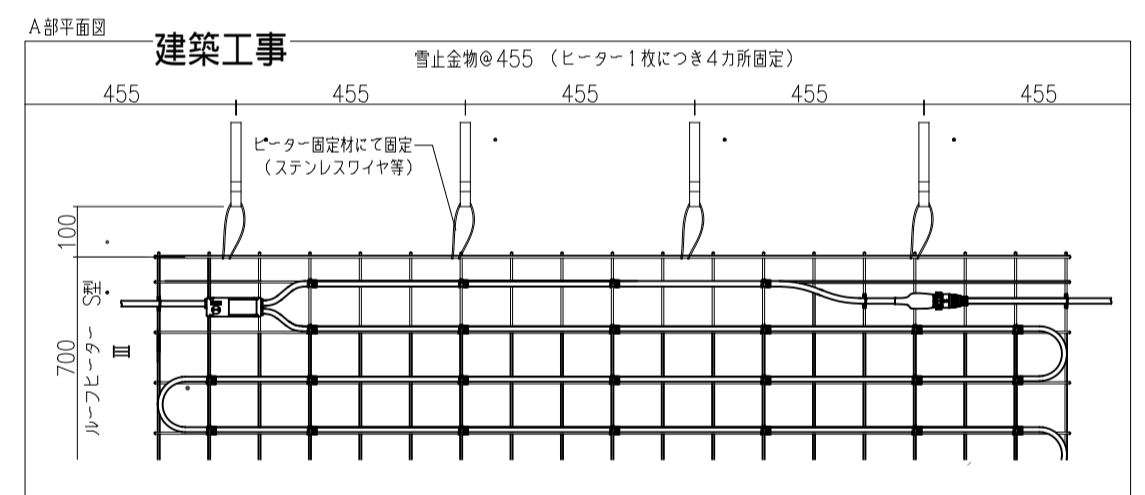
ヒーター仕様表

ヒーター No.	タイプ	寸法 (W×L)	定格消費電力	数量	容量	印 度
A-1	(CH S-BD1K)	700 x 1,800	490 W	1 台	490 W	1
A-2	(CH S-BD1K)	700 x 1,800	490 W	1 台	1,470 W	2
A-3-4	(CH S-BD1K)	700 x 1,800	490 W	2 台	1,470 W	3
A-5	(CH S-BD1K)	700 x 1,800	490 W	1 台	1,470 W	4
A-6-7	(CH S-BD1K)	700 x 1,800	490 W	2 台	1,470 W	5
A-8	(CH S-BD1K)	700 x 1,800	490 W	1 台	1,470 W	6
A-9-10	(CH S-BD1K)	700 x 1,800	490 W	2 台	1,470 W	7
A-11	(CH S-BD1K)	700 x 1,800	490 W	1 台	1,470 W	8
A-12-13	(CH S-BD1K)	700 x 1,800	490 W	2 台	1,470 W	9
A-14	(CH S-BD1K)	700 x 1,800	490 W	1 台	1,470 W	10
A-15-16	(CH S-BD1K)	700 x 1,800	490 W	2 台	1,470 W	11
B-1	(CH S-BD1K)	700 x 1,800	490 W	1 台	980 W	12
B-2	(CH S-BD1K)	700 x 1,800	490 W	1 台	980 W	13
電圧 1φ100V			TOTAL 18 台		8,820 W	

ルーフヒーター S型外形図 (CH S)



東屋敷 屋根・二重目軒足場ヒーター取まり断面図 (参考図)



SUSP. BOX 150角サイコロ型 (責任分界点)
BOXは電気で施工取付

完成図

本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。

名称	国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事	縮尺	1/100 (A1) 1/200 (A3)	No.	電気 E-17-2
図名	コンセント設備 屋根平面図 (屋根下) 屋根伏図				

記号	凡例	備考
	受信機	仕様注記参照
	機器収容箱	パッケージ型消火設備内蔵 ○ ◎ ② 収容
	表示灯	DC 24V, 10mA
	P型発信機	2級発信機
	火災警報ベル	DC 24V, 10mA
	終端抵抗	10K
	火災警報ベル	DC 24V, 10mA (ブザー)
	赤外線式スポット型感知器	DC 24V, 100mA, 自在取付台付 壁面取付, 取付高さ・取付角は平面図参照, 透光板付
	警戒区域番号	火災表示用
	警戒区域線	
	外線	地中埋設
	配管配線	露出
	配管配線上げ下げ	
	ジャンクションボックス	
	ハンドル	(既設)
	端子盤	(既設)
	P.BOX 300×300×300	(SUS WP)
	P.BOX 200×200×200	(SUS WP)
	P.BOX 150×150×150	(SUS WP)
	誘導槽	

[注記]

- 受信機仕様
 - P型2級、壁掛型、樹脂製、窓式、主音響（音声警報）・予備電源内蔵蓄積式、自動断線警報機能付
 - 操作無効機能付
 - カラーユニバーサルデザイン対応
 - 表示内訳

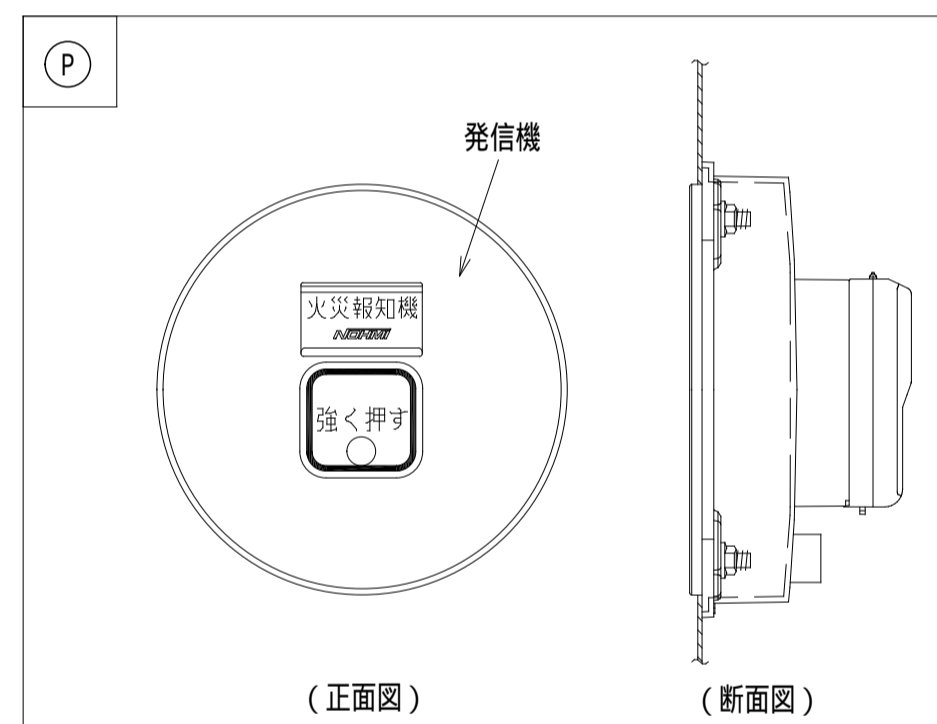
・火災表示 4L + 1L (予備) = 5L

- 諸表示部 (1L標準装備)

- 感知器はすべて確認灯付とする。

- 地区ベル鳴動方式は一音鳴動方式とする。

- 発信機。



消火設備に発信機を内蔵する場合、取り付け用加工（スタッド加工）は衛生工事とする。また、表示灯、地区ベルは消火設備に内蔵し、衛生工事支給品取付。

- 図面中の表現は下記とする。
 - 実線 新設
 - 破線 既設

- 特記なき配管配線は下記参照。

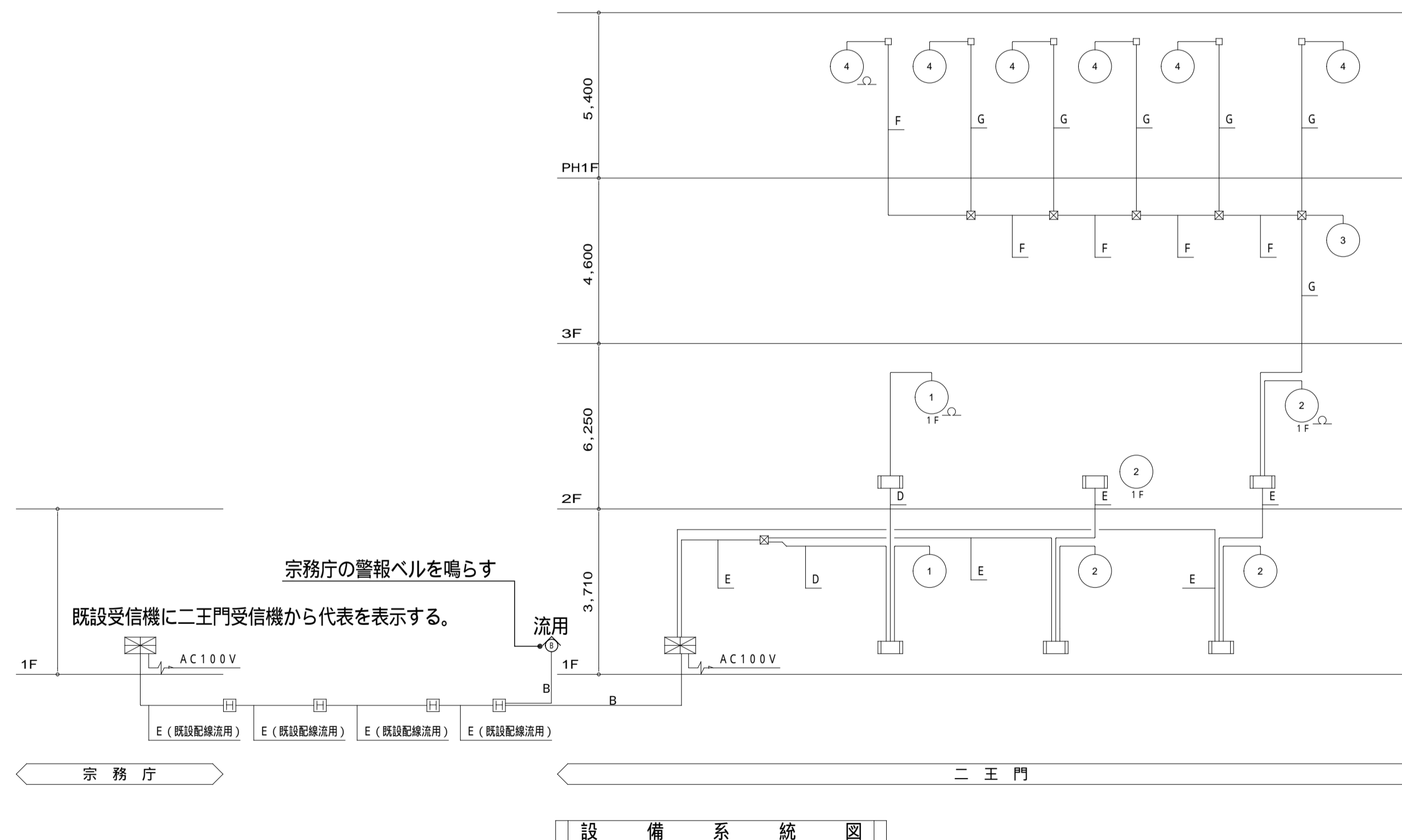
(感知器) ——— EM-AE0.9-2C(16)
 ——— EM-AE0.9-2C(16)
 ——— EM-AE0.9-4C(16)

AE; 警報用ケ-ブル
 HP; 耐熱ケ-ブル

- 2重天井部分はケーブルこがし配線、直天井部分は露出配管配線とする。

記号	配管配線内訳
A	EM-HP1.2-2C(16)
B	EM-HP1.2-4C(16)
C	EM-HP1.2-3P(22)
D	EM-HP1.2-5P(22)
E	EM-HP1.2-10P(22)
F	EM-AE0.9-2C(16)
G	EM-AE0.9-4C(16)

直天井部分は露出配管配線 (PFD)



完成図

本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。

名称 国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事

縮尺

No.

図名 自動火災報知設備
 凡例・注記・系統図

1/N(A1)
 1/N(A3)

電気
 E-18

ホイス点検歩廊 F.L.
 棟足場・ホイス点検歩廊 F.L.
 妻足場・ホイス点検歩廊 F.L.

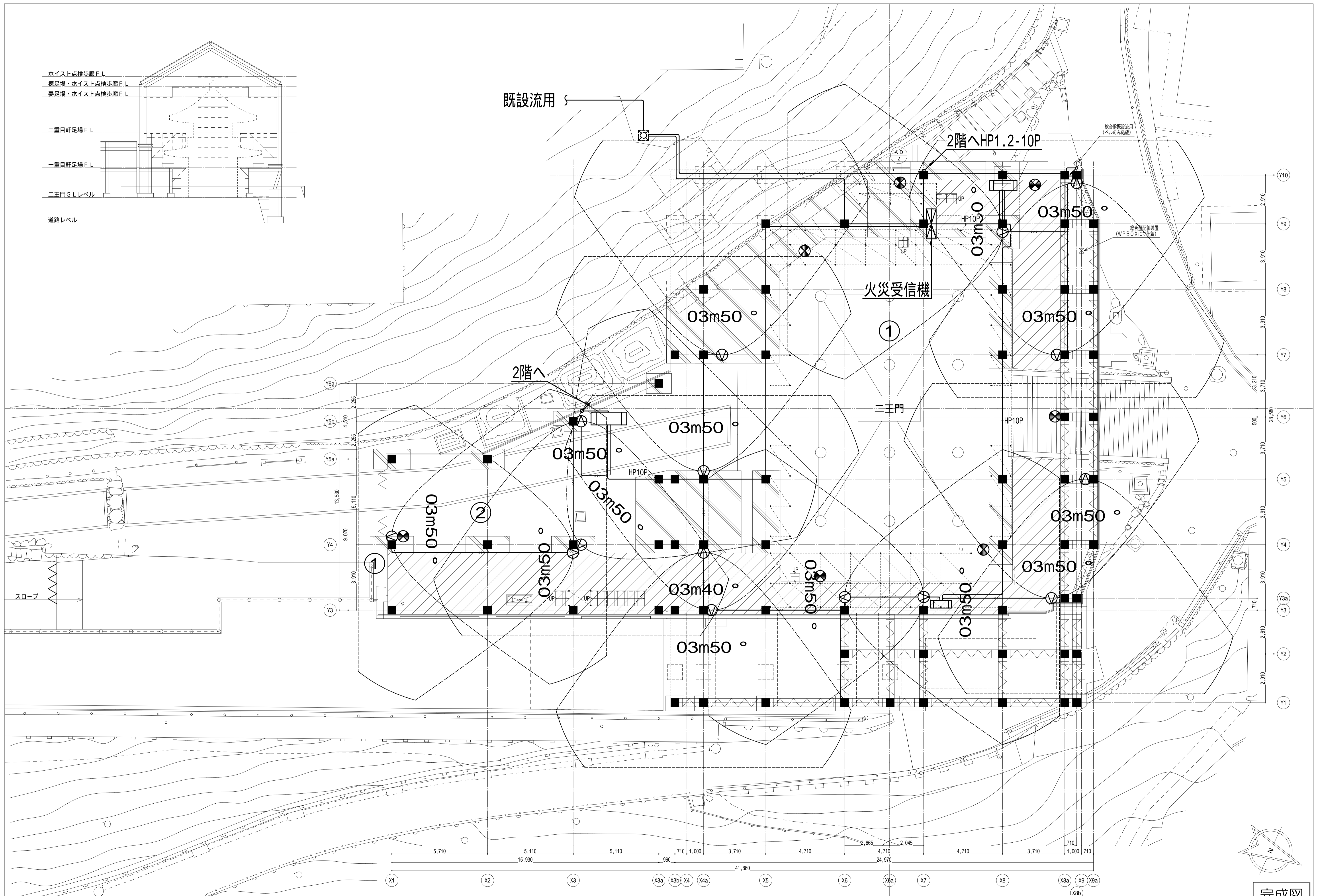
二重目軒足場 F.L.

一重目軒足場 F.L.

二王門 G.L.レベル

道路レベル

既設流用



本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。

名称 国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事

図名 自火報設備
 1階平面図(二王門 G.L.)

縮尺

1/100 (A1)
 1/200 (A3)

No.

電気
 E-20

完成図

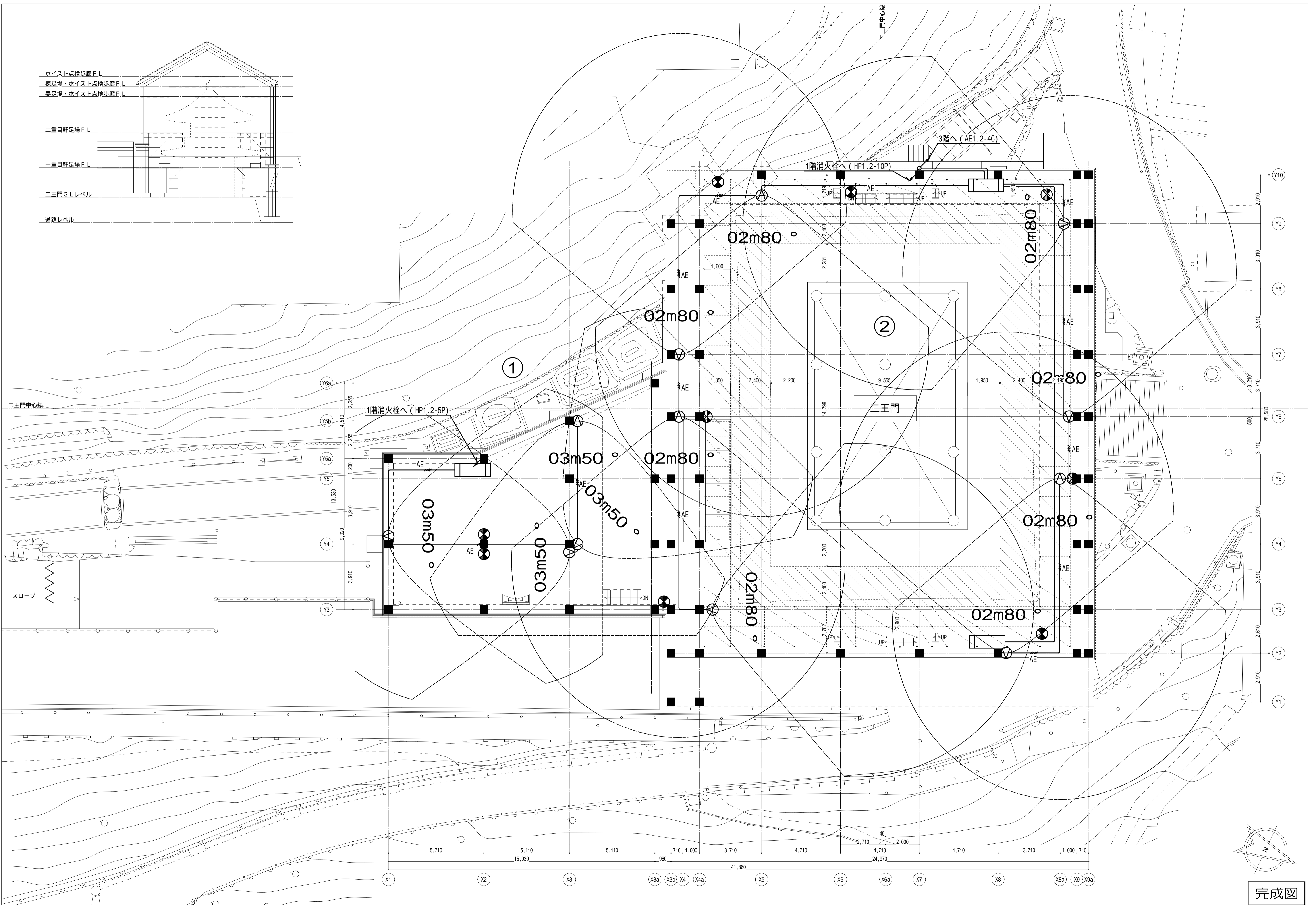
ホイス点検歩廊 F.L.
横足場・ホイス点検歩廊 F.L.
妻足場・ホイス点検歩廊 F.L.

二重目軒足場 F.L.

一重目軒足場 F.L.

二王門 G.L.レベル

道路レベル

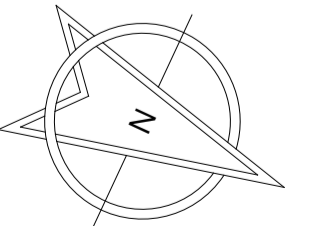
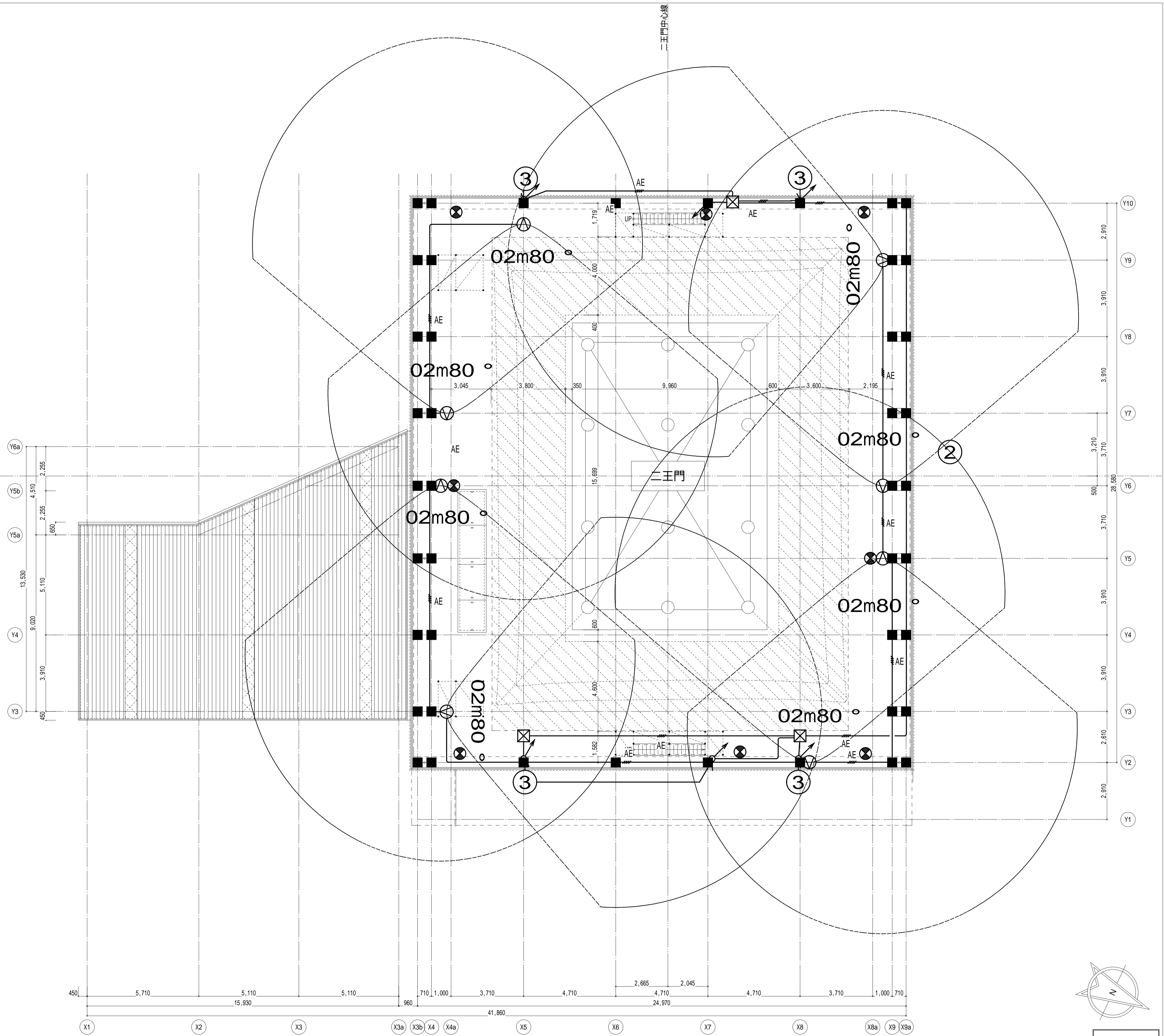
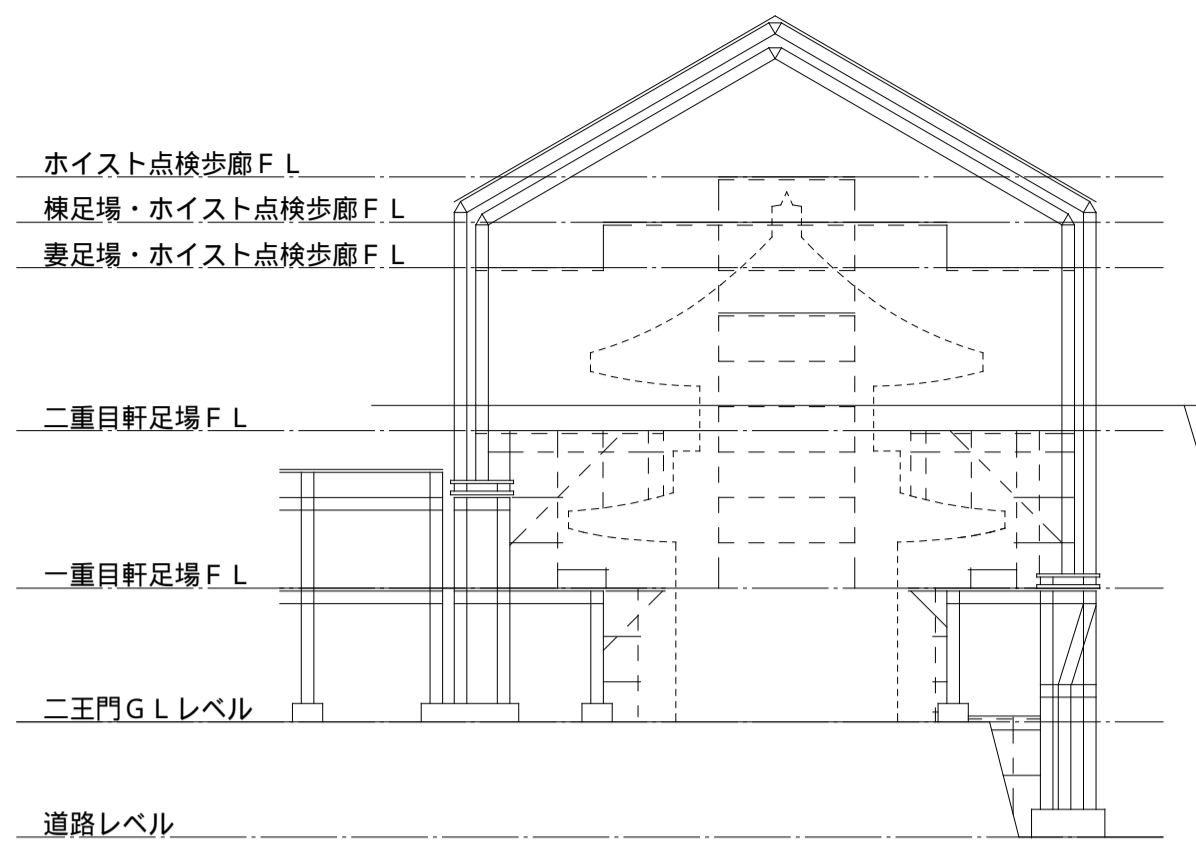


本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。

名称 国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事
図名 自火報設備
2階平面図(一重目軒足場)

縮尺 1/100(A1)
1/200(A3)
No. 電気 E-21

完成図



完成図

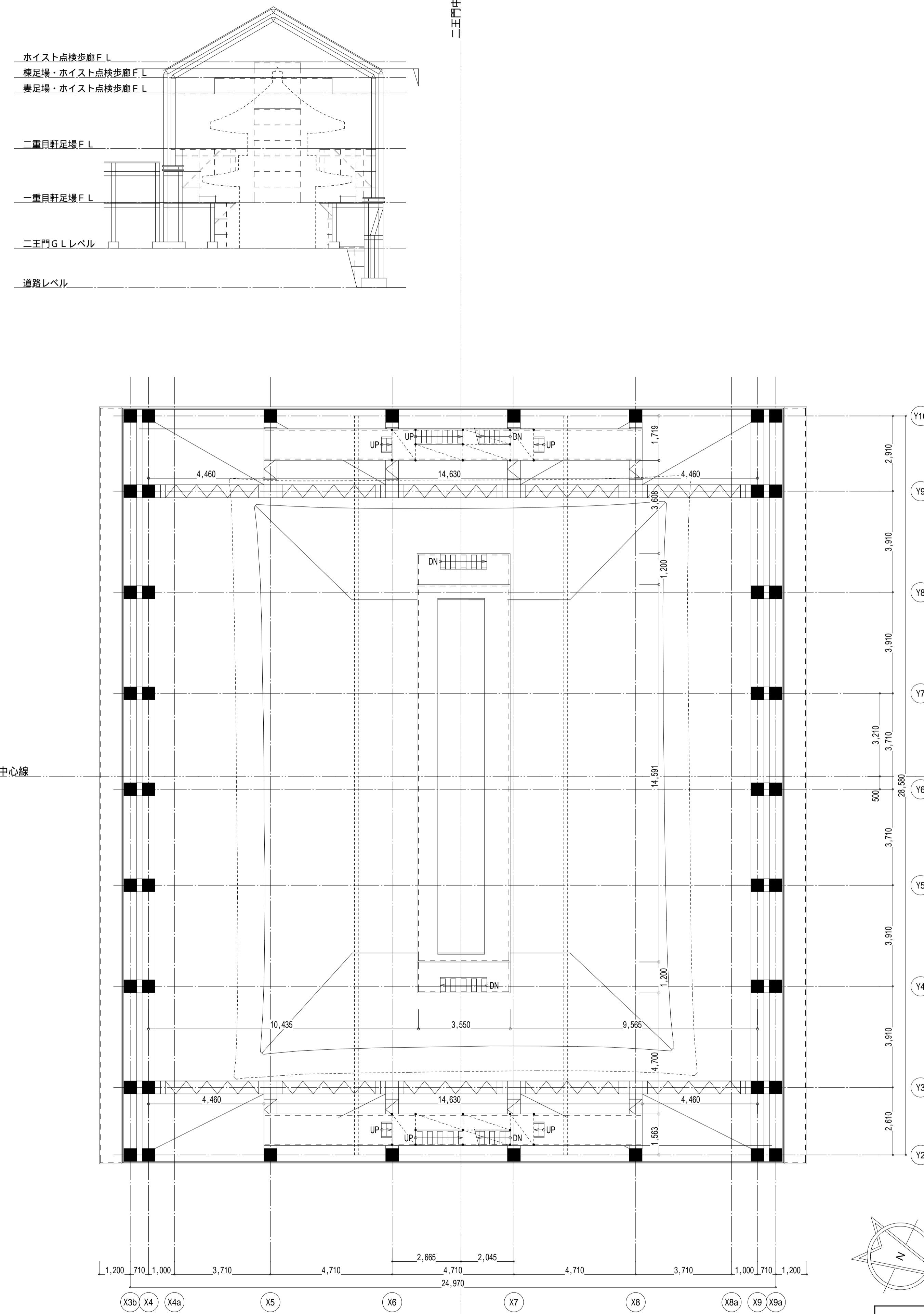
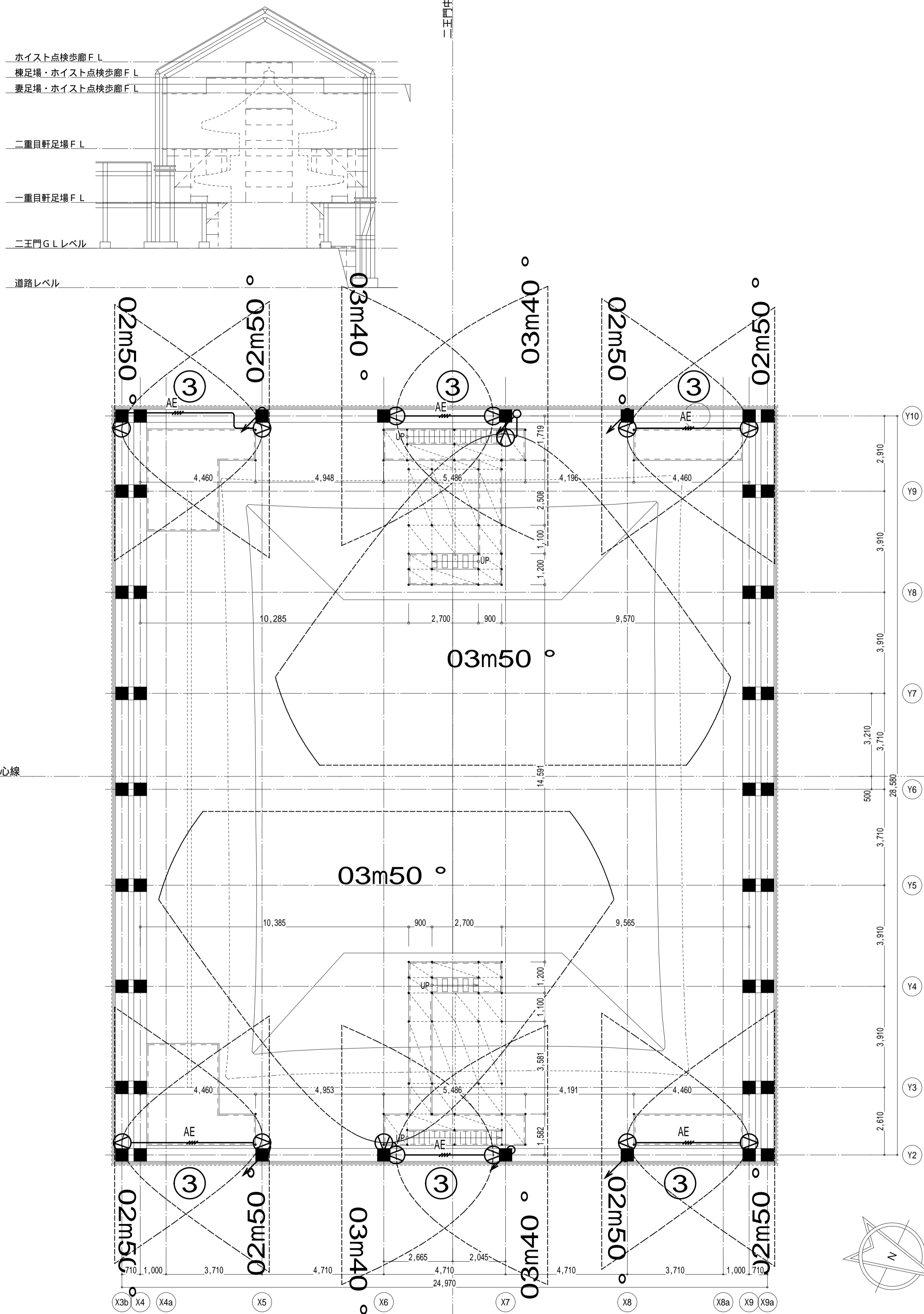
本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。

名称 国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事
 図名 自火報設備
 3階平面図(二重目軒足場)
 上部平面図(妻足場)

縮尺 1/100(A1)
 1/200(A3)
 No. 電気 E-22

上部平面図(妻足場)

上部平面図(横足場)



本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。

名称 国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事

縮尺

No.

図名 自火報設備
上部平面図(横足場)
屋根伏図

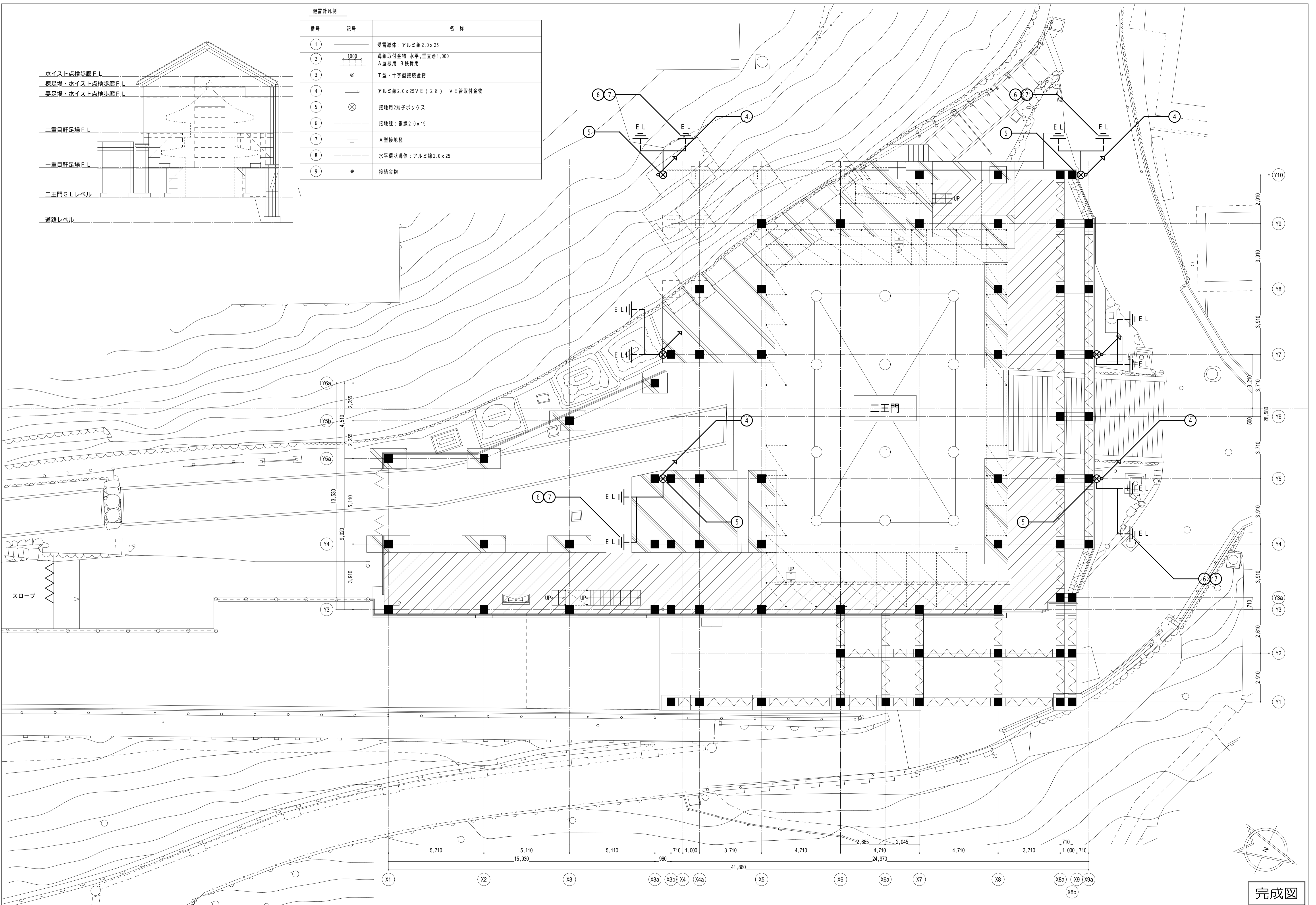
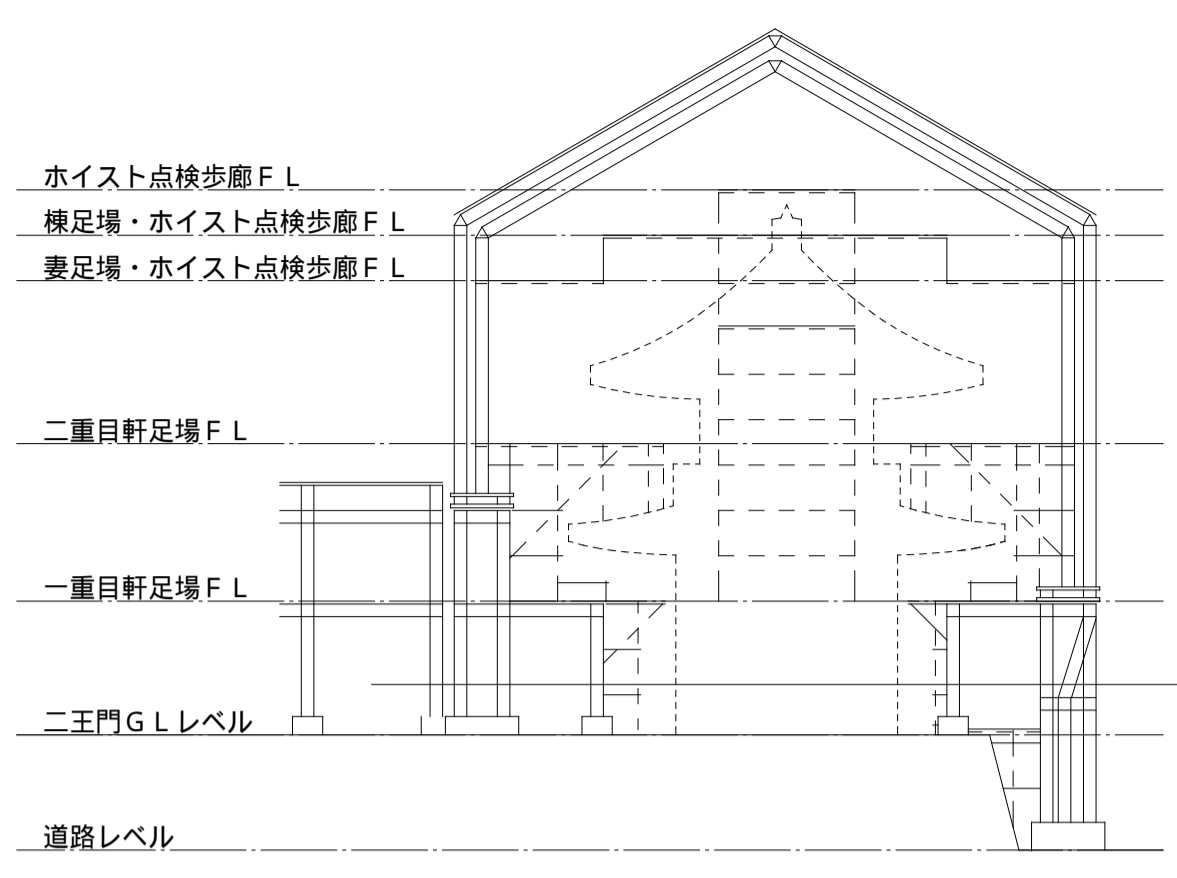
1/100(A1)
1/200(A3)

電気
E-23

完成図

避雷針凡例

番号	記号	名称
①		受雷導体：アルミ線 2.0×25
②	1000	導線取付金物 水平・垂直@1,000 A 屋根用 B 敷面用
③	⊗	T型・十字型接続金物
④	⇐	アルミ線 2.0×25VE (28) VE管取付金物
⑤	⊗	接地用2端子ボックス
⑥	—	接地線：銅線 2.0×19
⑦	⊕	A型接地棒
⑧	—	水平環状導体：アルミ線 2.0×25
⑨	●	接続金物

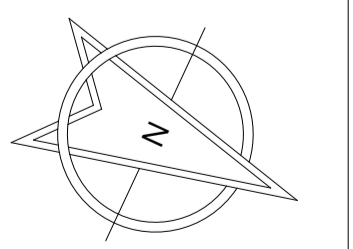



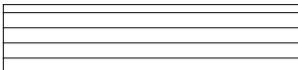


本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。

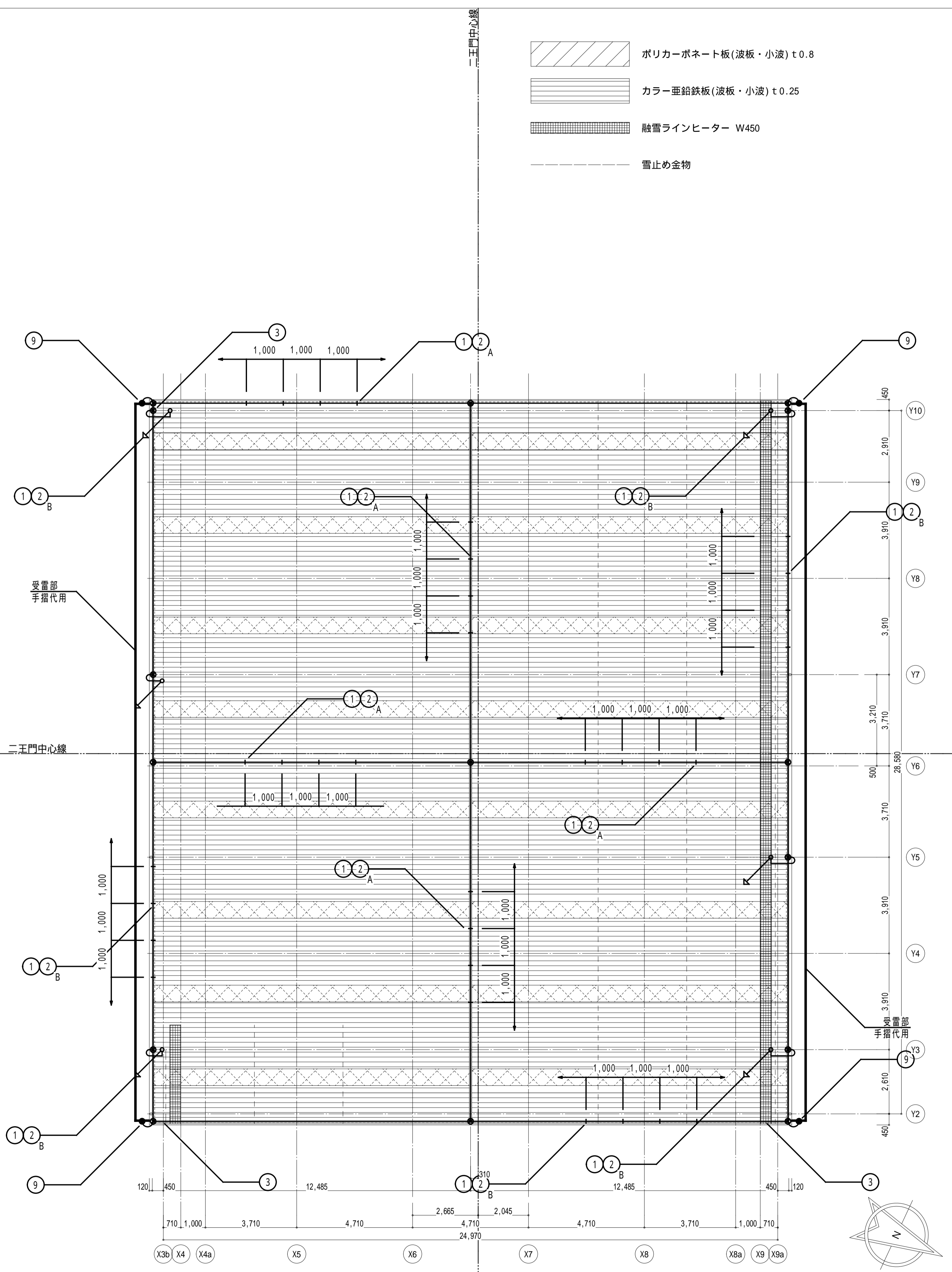
名称 国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事
 図名 避雷設備
 1階平面図(二王門 G.L.)

縮尺 1/100 (A1)
 1/200 (A3)
 No. 電気 E-24

完成図



-  ポリカーボネート板(波板・小波) t0.8
-  カラー亜鉛鉄板(波板・小波) t0.25
-  融雪ラインヒーター W450
-  雪止め金物



避雷針凡例

番号	記号	名称
①	—	受雷導体：アルミ線 2.0×25
②		導線取付金物 水平、垂直@1,000 A 屋根用 B 鉄骨用
③	⊗	T型・十字型接続金物
④	—	アルミ線 2.0×25VE (28) VE 管取付金物
⑤	⊗	接地用2端子ボックス
⑥	---	接地線：銅線 2.0×19
⑦	⊕	A型接地極
⑧	---	水平環状導体：アルミ線 2.0×25
⑨	●	接続金物

JIS A 4201:2003 レベル3準拠
保護レベルに応じた受雷部の配置

保護レベル	回転球体法 R (m)	保護角法 h (m)					メッシュ法 幅 (m)
		2.0 (°)	3.0 (°)	4.5 (°)	6.0 (°)	6.0 超過 (°)	
	4.5	4.5	3.5	2.5	*	*	1.5

* 回転球体法及びメッシュ法だけを適用する。

備考1. Rは、回転球体法の球体半径。
備考2. hは地表面から受雷部の上端までの高さとする。ただし、陸屋根の部分においては、hを陸屋根から受雷部の上端までの高さとしてとることができる。

メッシュ法
メッシュ導体で覆われた内側を保護範囲とする方法で、そのメッシュの幅は、表1の値以下とする。メッシュ導体は受雷効果を主目的とするものであることから、メッシュの形状は必ずしも網状を構成する必要はなく、平行導体を構成すれば保護効果は同等である。

保護レベルに応じた引下線導線の平均間隔

保護レベル	平均間隔 (m)
	2.0

構造体受雷部利用の材料及び使用条件

材料	厚さ t (mm)	厚さ t' (mm)	断面積 (m ²)
鉄、ステンレス	4	0.5	5.0
銅	5	0.5	3.5
アルミニウム	7	1	7.0

注) 電気的接続は、黄銅ろう付け、溶接、圧着、ねじ締めなどの方法によって確実に行う。

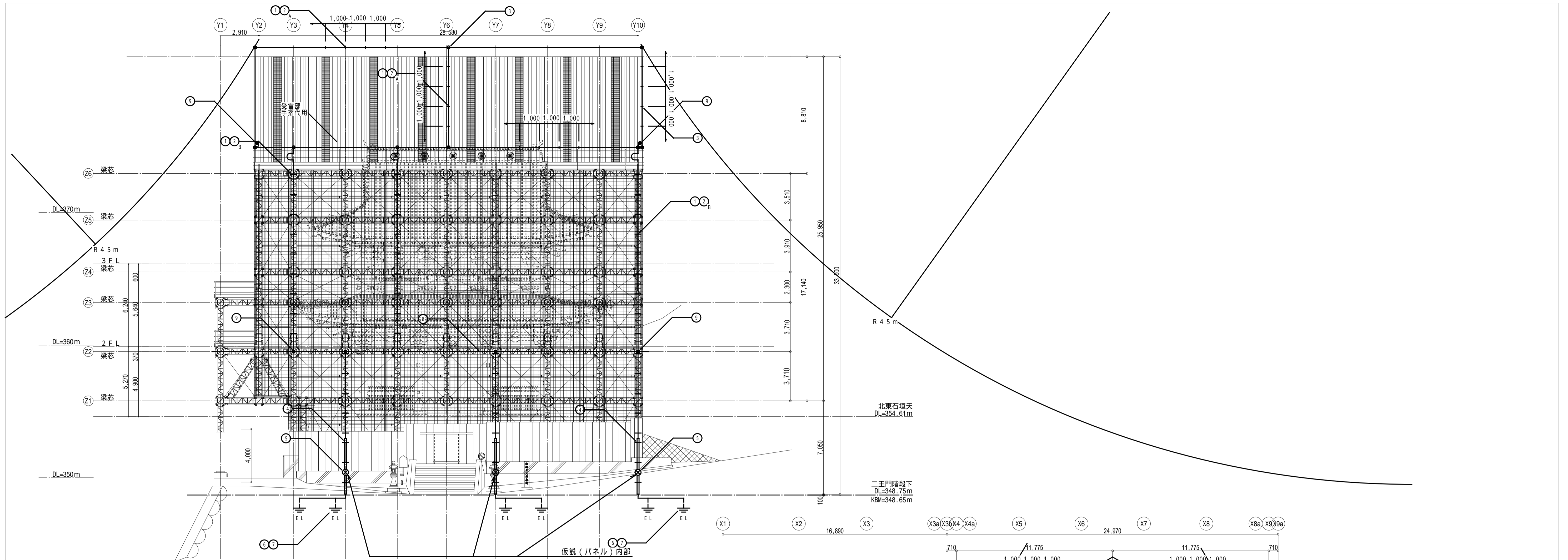
備考1. 金属板が、雷電流によって穴があいてはならない構造のもの又は高温にさらされてはならないものである場合、厚みはtの値以上である。
備考2. 金属板が、雷電流によって穴があいても差し支えない構造のもの又は金属板の下部に発火する可燃物がない場合、その厚みはt'の値以上である。

本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。

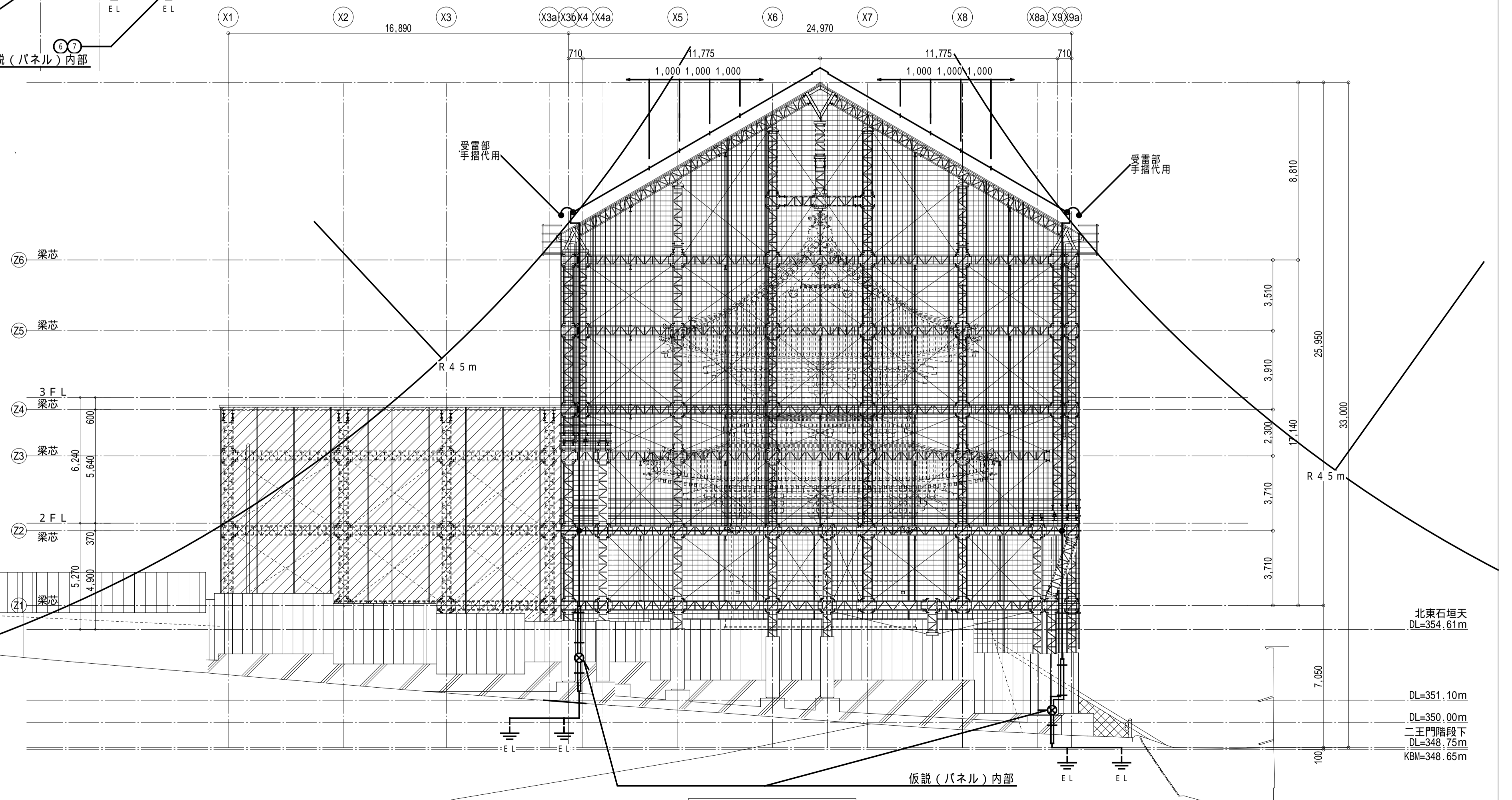
名称 国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事
図名 避雷設備 上部平面図(機足場) 屋根伏図

縮尺 1/150 (A1)
1/300 (A3)
No. 電気 E-25

完成図



北立面図



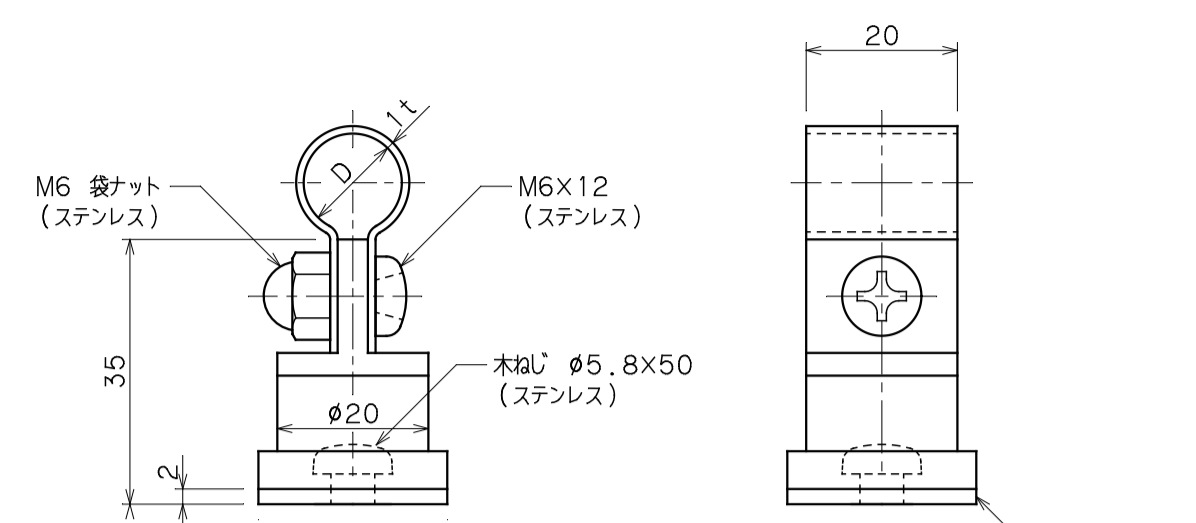
東立面図

完成図

本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。

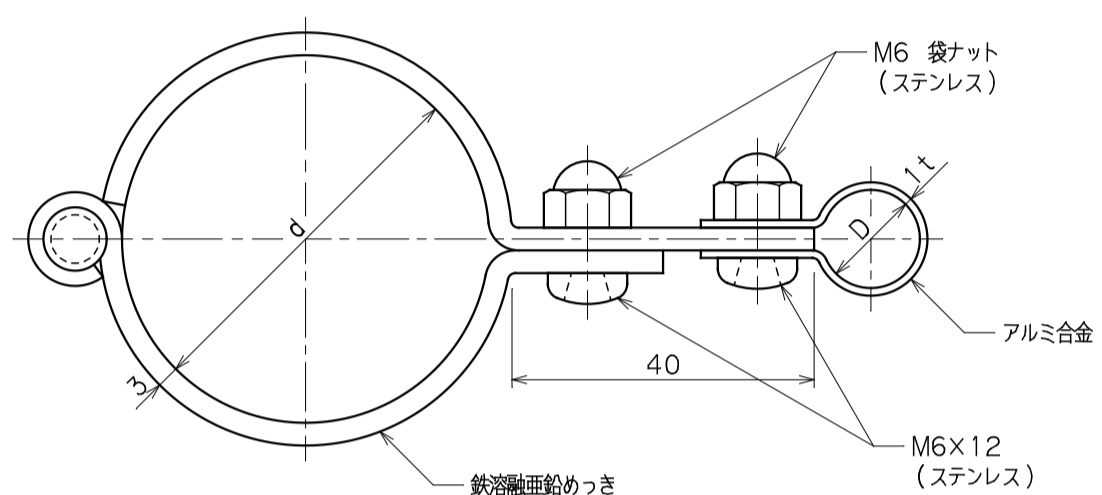
名称 国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事
 図名 避雷設備 立面図

縮尺 1/150 (A1)
 1/300 (A3)
 No. 電気 E-26



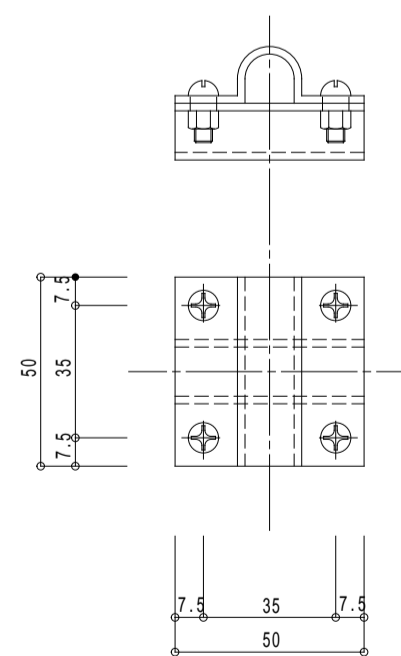
品番	使用導線	D	ドリル径
7429	60mm ² 迄	13φ	8φ
7430	78 #	14.5φ	#

導線取付金物 屋根用様式部 S=1:2

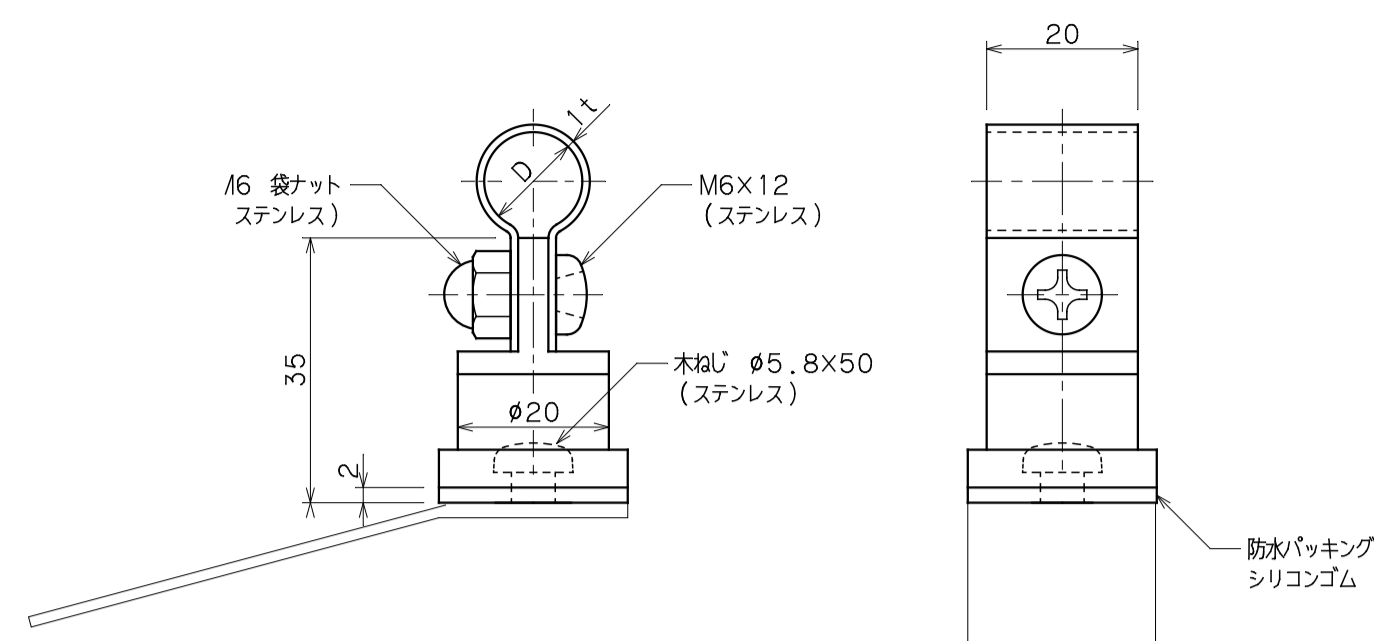


品番	使用導線	D	パイプ外径φ
7498	60mm ² 迄	13φ	48.6φ
7499	78 #	14.5φ	#

ビニール管取付金物 鉄骨用 S=1:2

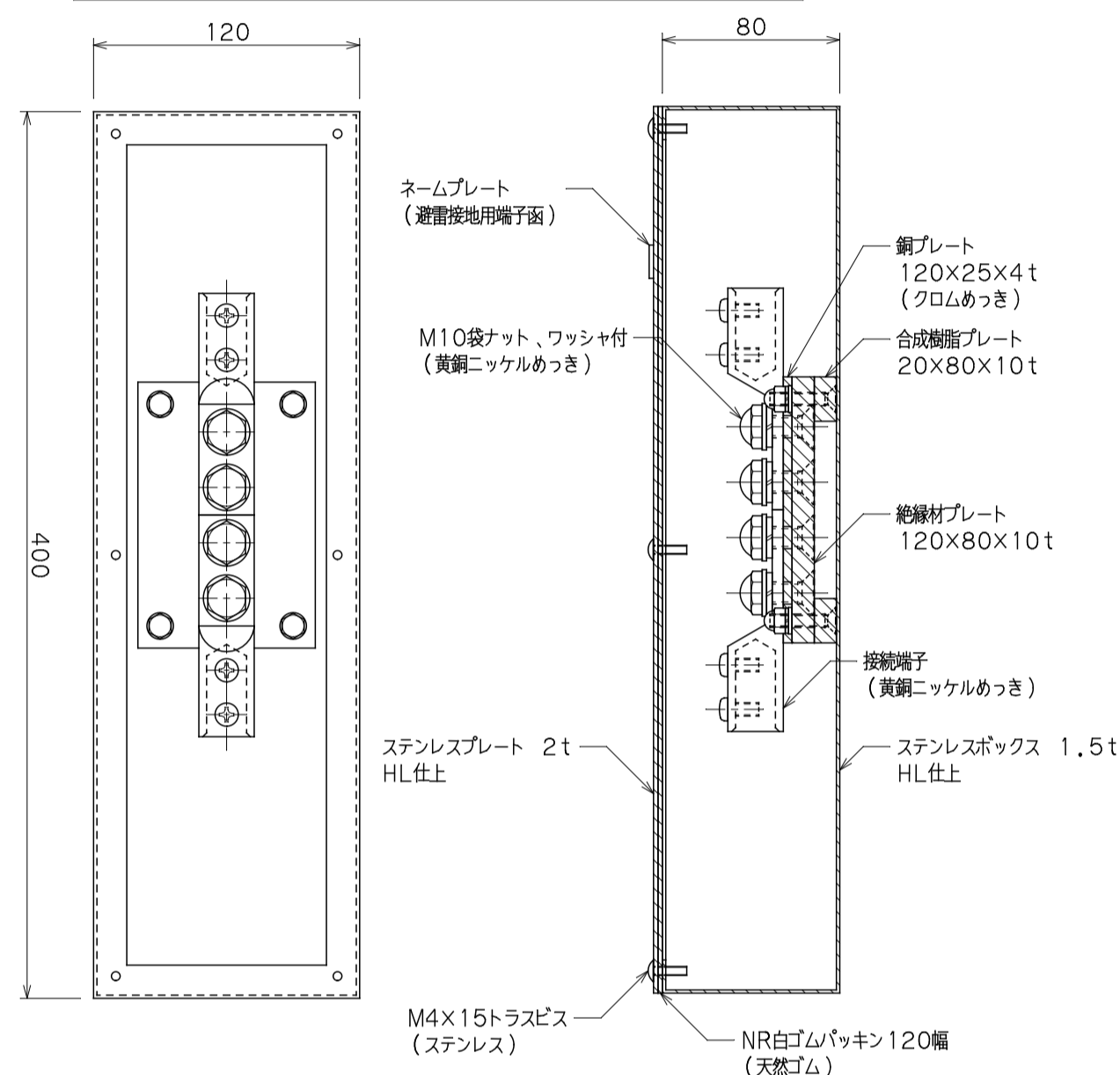


T型・十字型接続金物 S=1:2

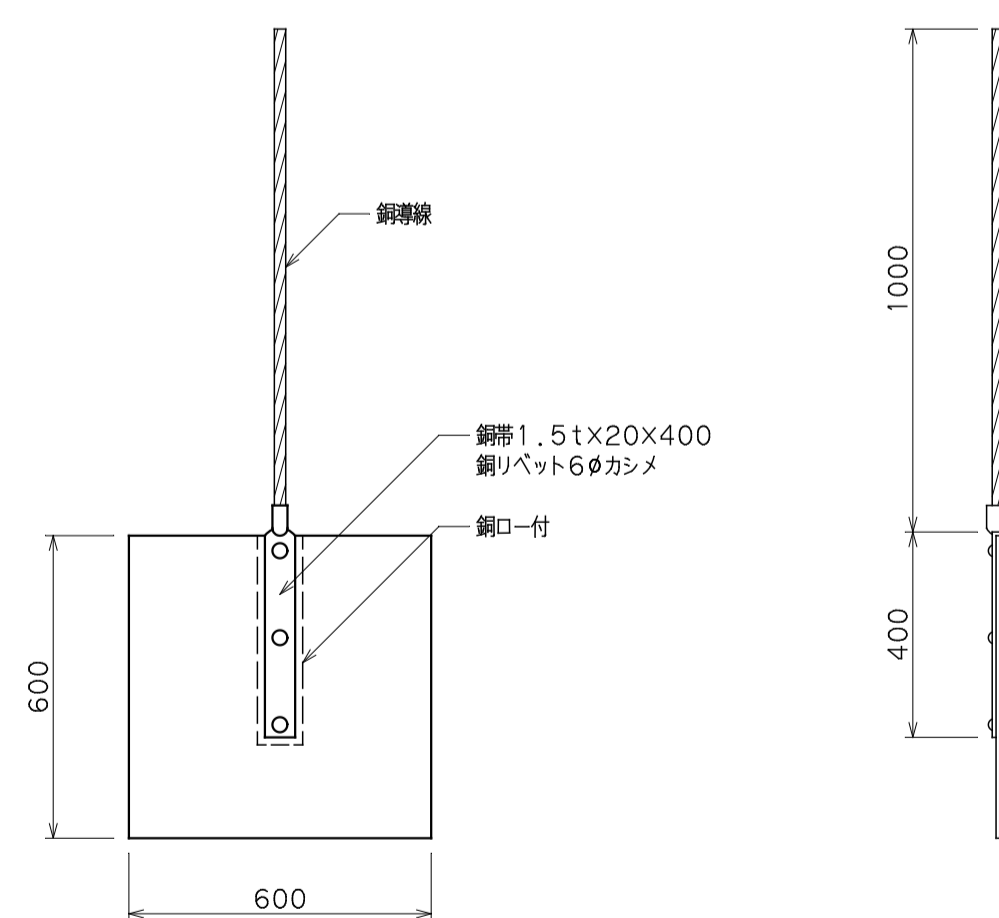


品番	使用導線	D	ドリル径
7429	60mm ² 迄	13φ	8φ
7430	78 #	14.5φ	#

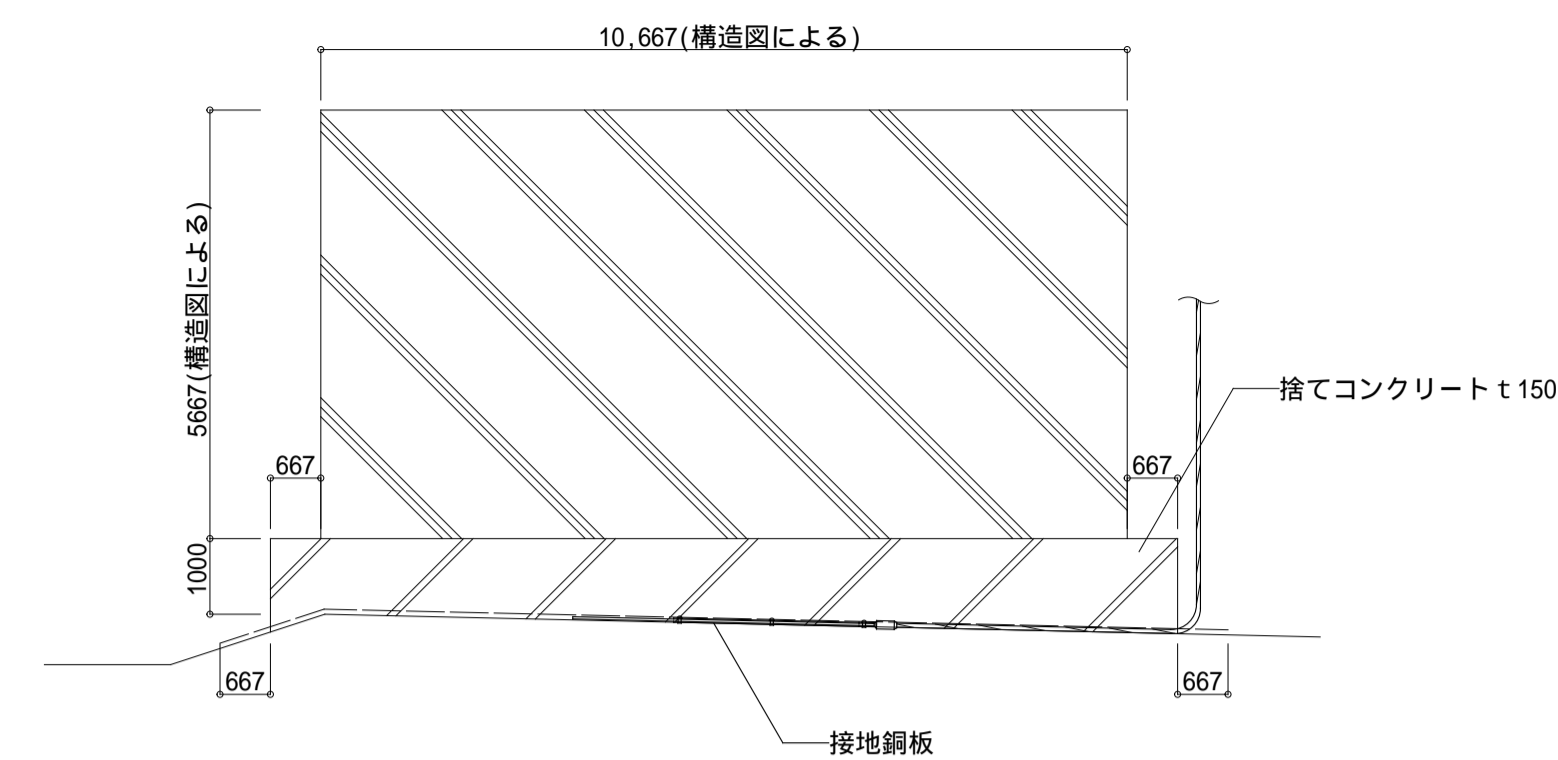
導線取付金物 屋根用様式部 S=1:2



#3061 試験用端子ボックス S=1:5

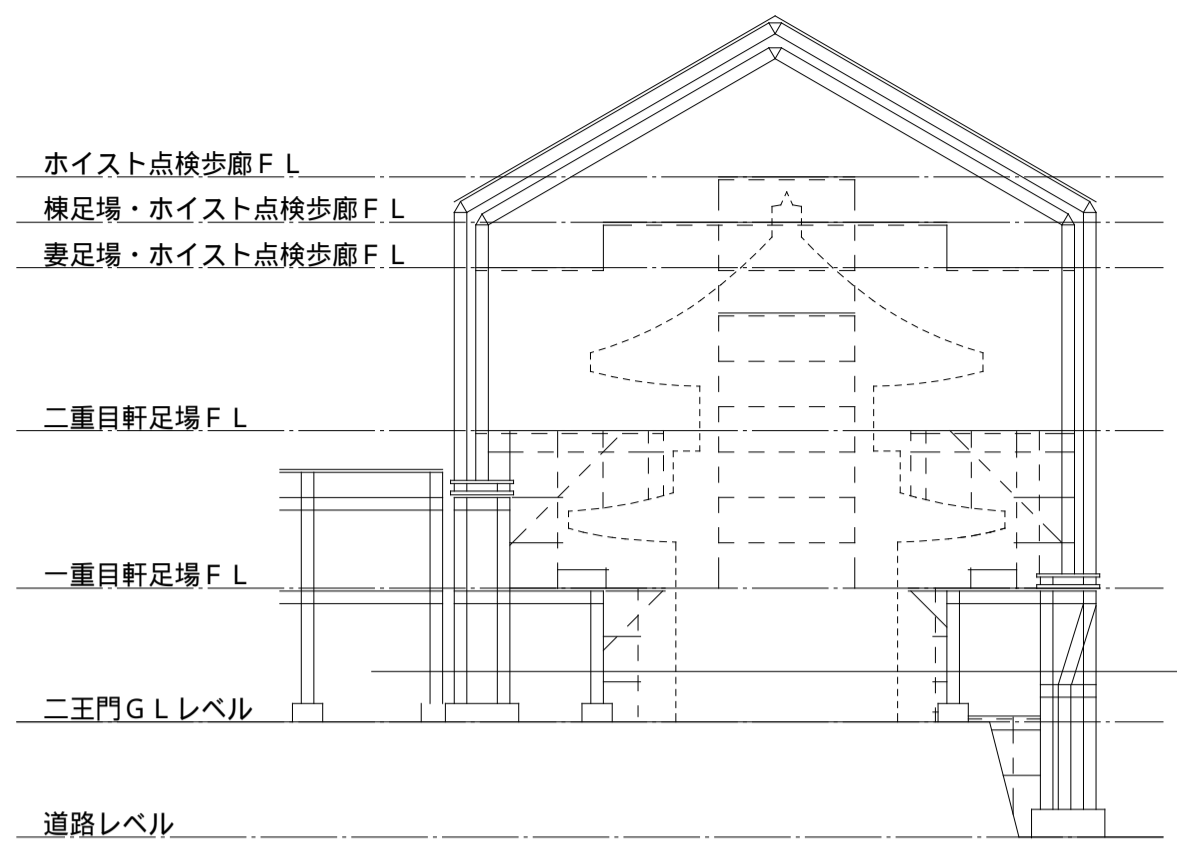


接地銅板 S=1:15

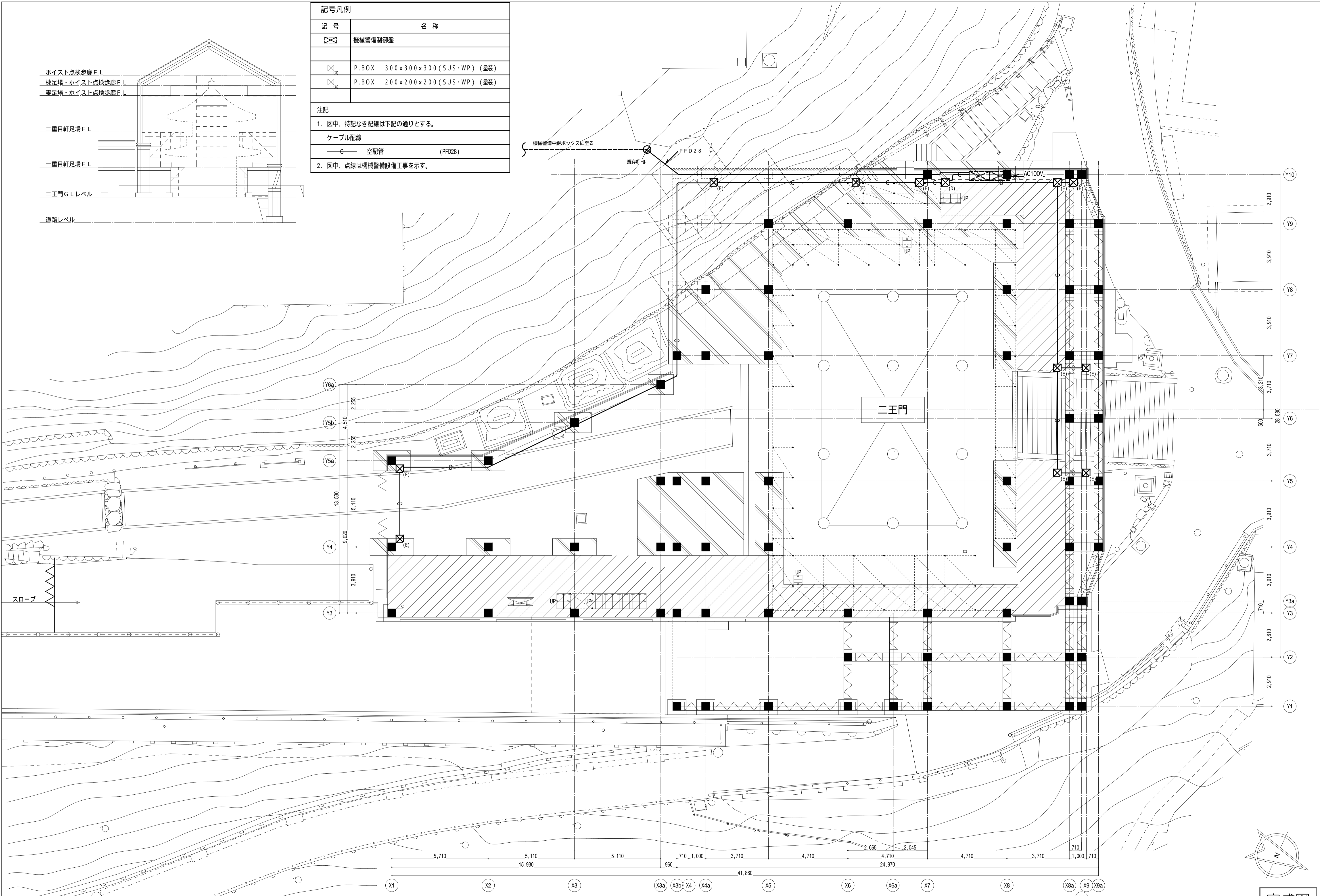


接地極断面詳細図 S=1:15

- 捨てコンクリート下に接地銅板を施工し、遺構面は掘削しないこと。
- 接地抵抗値がとれない場合は監督員と協議の上、施工方法等を検討すること。



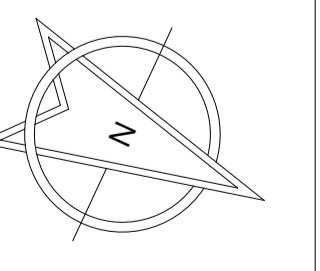
記号凡例	
記号	名称
	機械警備制御盤
	P.BOX 300×300×300(SUS・WP) (塗装)
	P.BOX 200×200×200(SUS・WP) (塗装)
注記	
1. 図中、特記なき配線は下記の通りとする。	
ケーブル配線	
	空配管 (PFD28)
2. 図中、点線は機械警備設備工事を示す。	



本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。

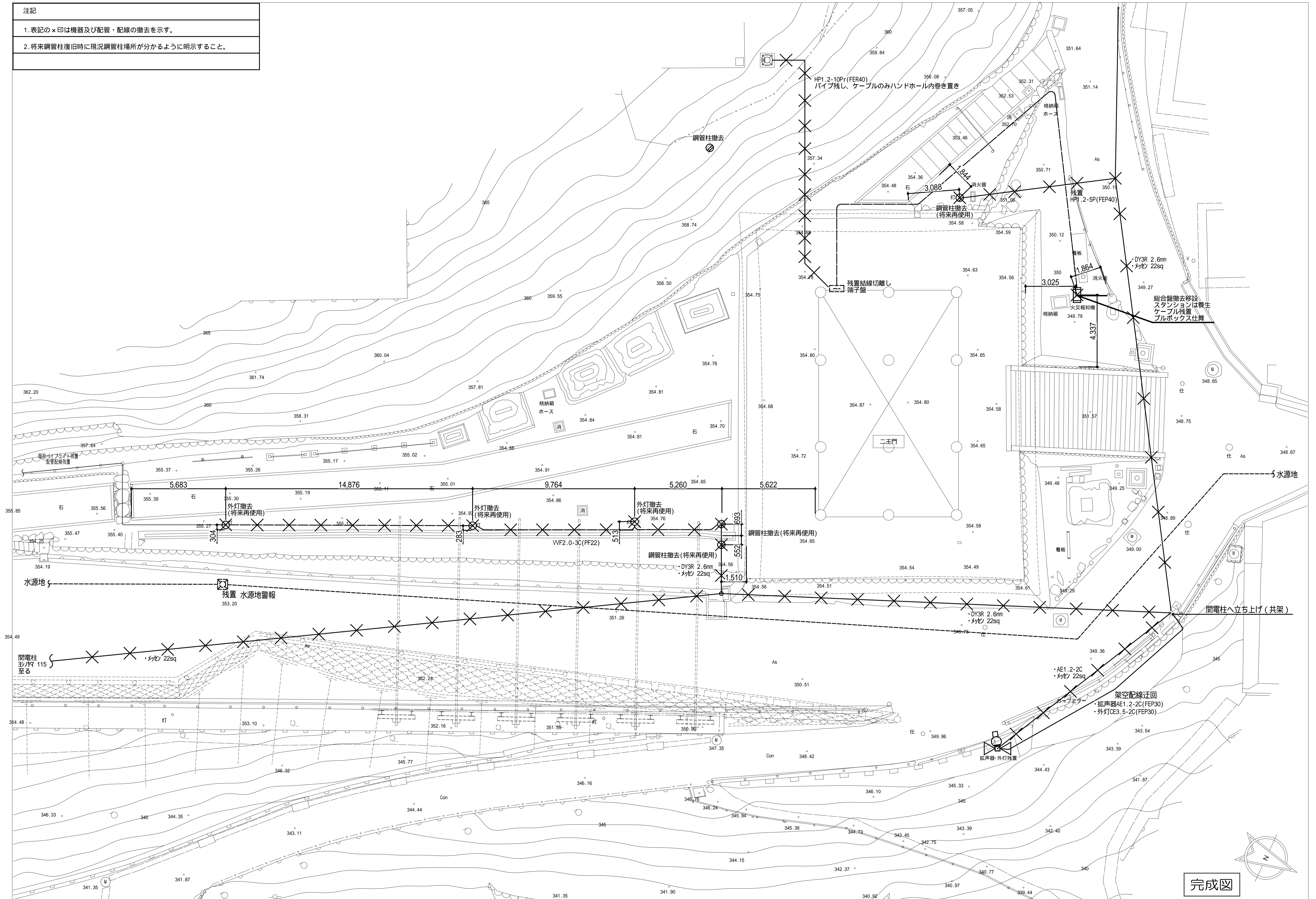
名称 国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事
 図名 電気設備 平面図(新設)

縮尺 1/100(A1)
 1/200(A3)
 No. 電気設備 E-28



完成図

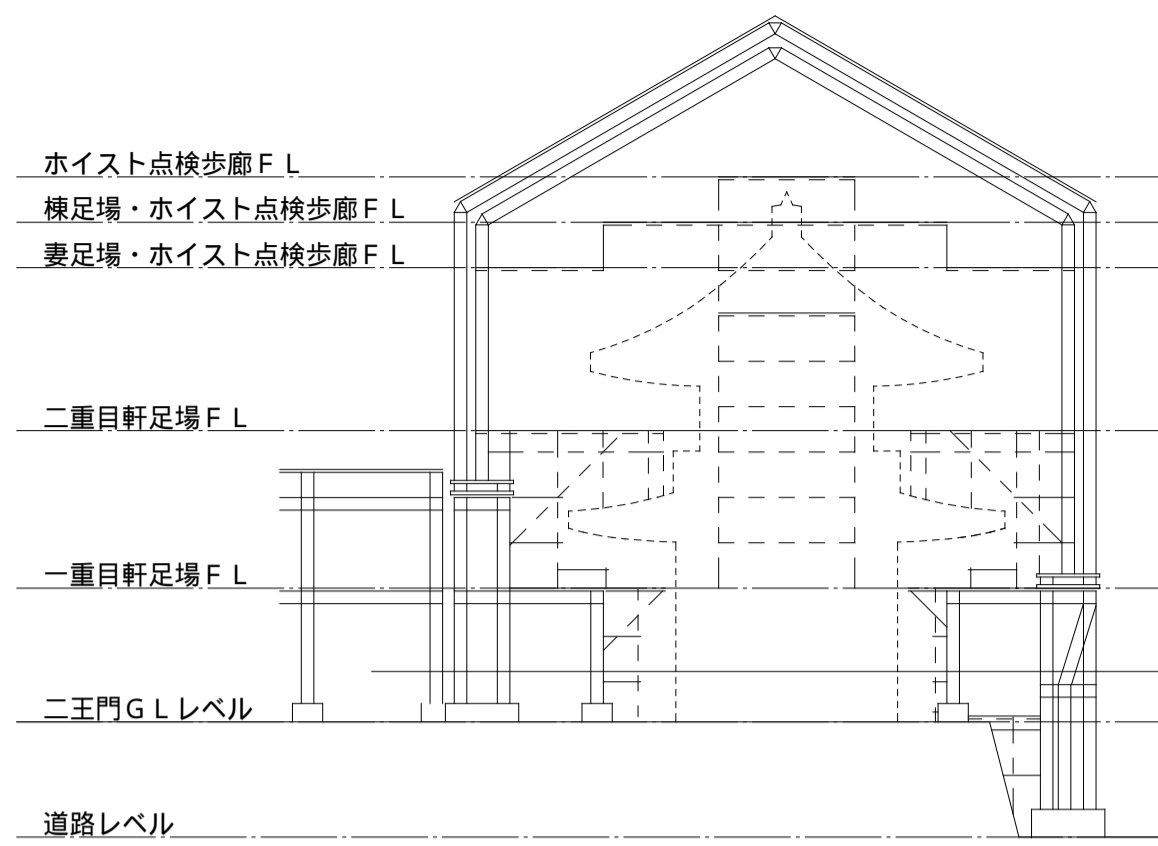
注記
1.表記の×印は機器及び配管・配線の撤去を示す。
2.将来鋼管柱復旧時に現況鋼管柱場所が分かるように明示すること。



本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。

名称	国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事	縮尺	1/100 (A1) 1/200 (A3)	No.	電気 E-29
図名	電気設備 平面図(現況撤去)				

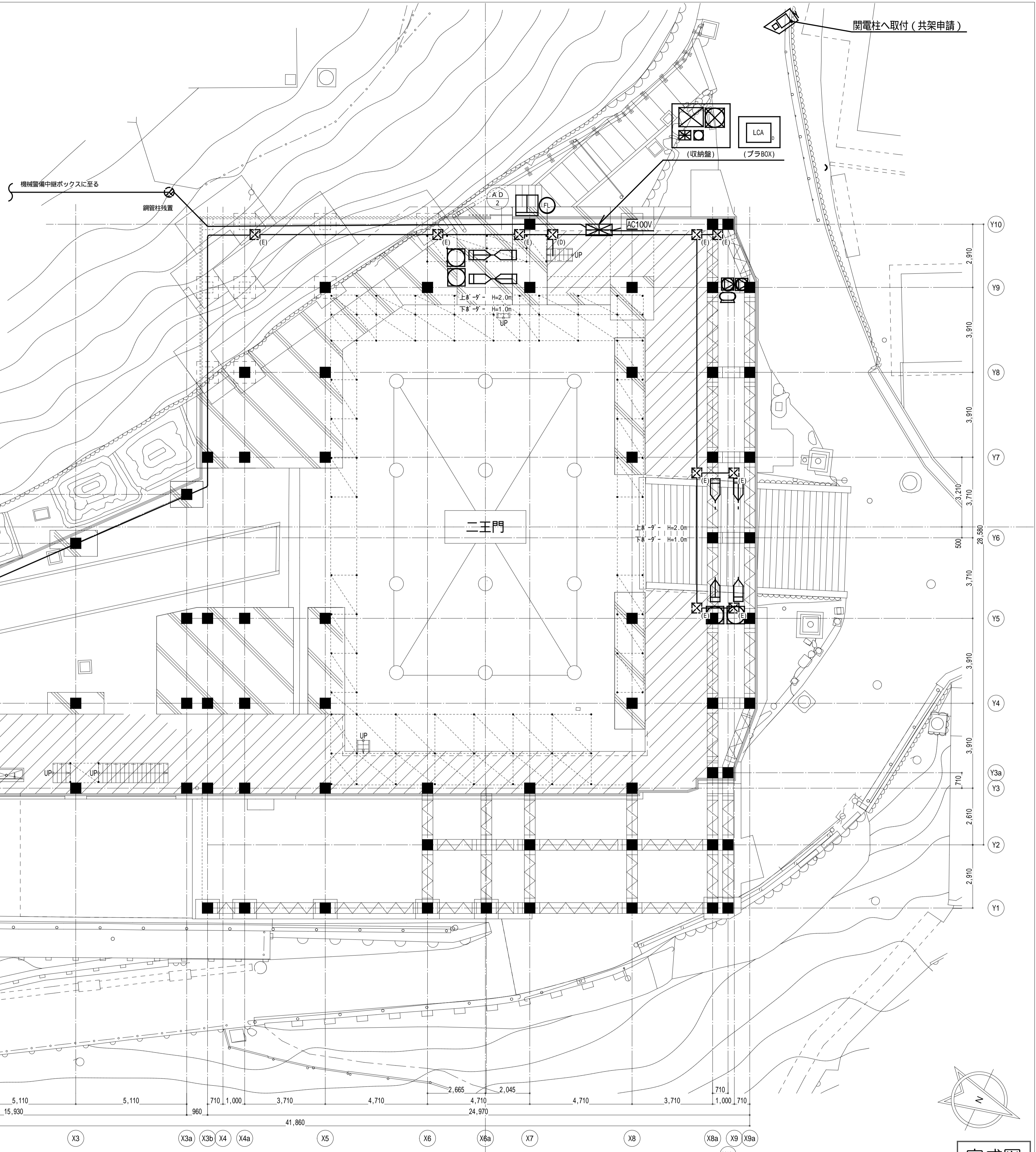
完成図



記号	名称
	機械警備収納盤 (DC/ACレギュレータ、パワーエレクトロニクス、無線通信アンテナ)
	カードリーダー・スキャナ
	防火警報装置
	カメラ・インターフェイス
	コンセント
	2階ネットワーク屋外出口
	コンセント(屋外用)
	集音マイク
	8ポートPoEスイッチ

注記

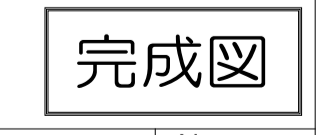
1. 図中、実線は機械警備設備工事範囲(機器配置、調整、設定一式、HUBBOX、配線、配管一式)を示す。
2. 最寄りのプルボックスから機械警備機器まではPF配管とする。
3. 機械警備機器の設置位置、取付方法等は監督員、関係者と十分協議すること。



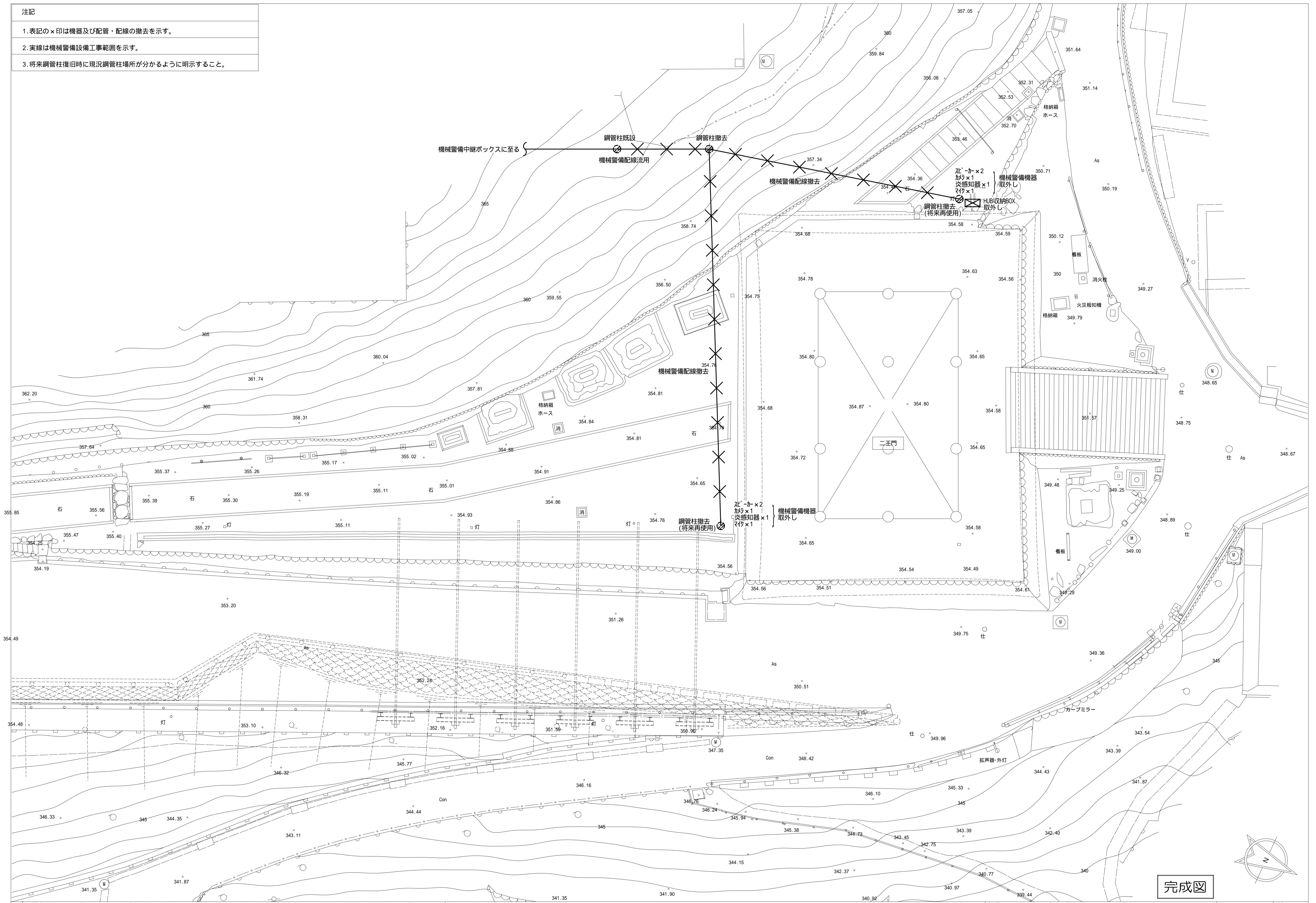
本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。

名称 国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事
 図名 機械警備設備 平面図(新設)

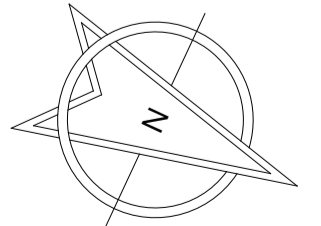
縮尺 1/100 (A1)
 1/200 (A3)
 No. 電気 E-30



- 注記
1. 表記の×印は機器及び配管・配線の撤去を示す。
 2. 実線は機械警備設備工事範囲を示す。
 3. 将来鋼管柱復旧時に現況鋼管柱場所が分かるように明示すること。



完成図



本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。

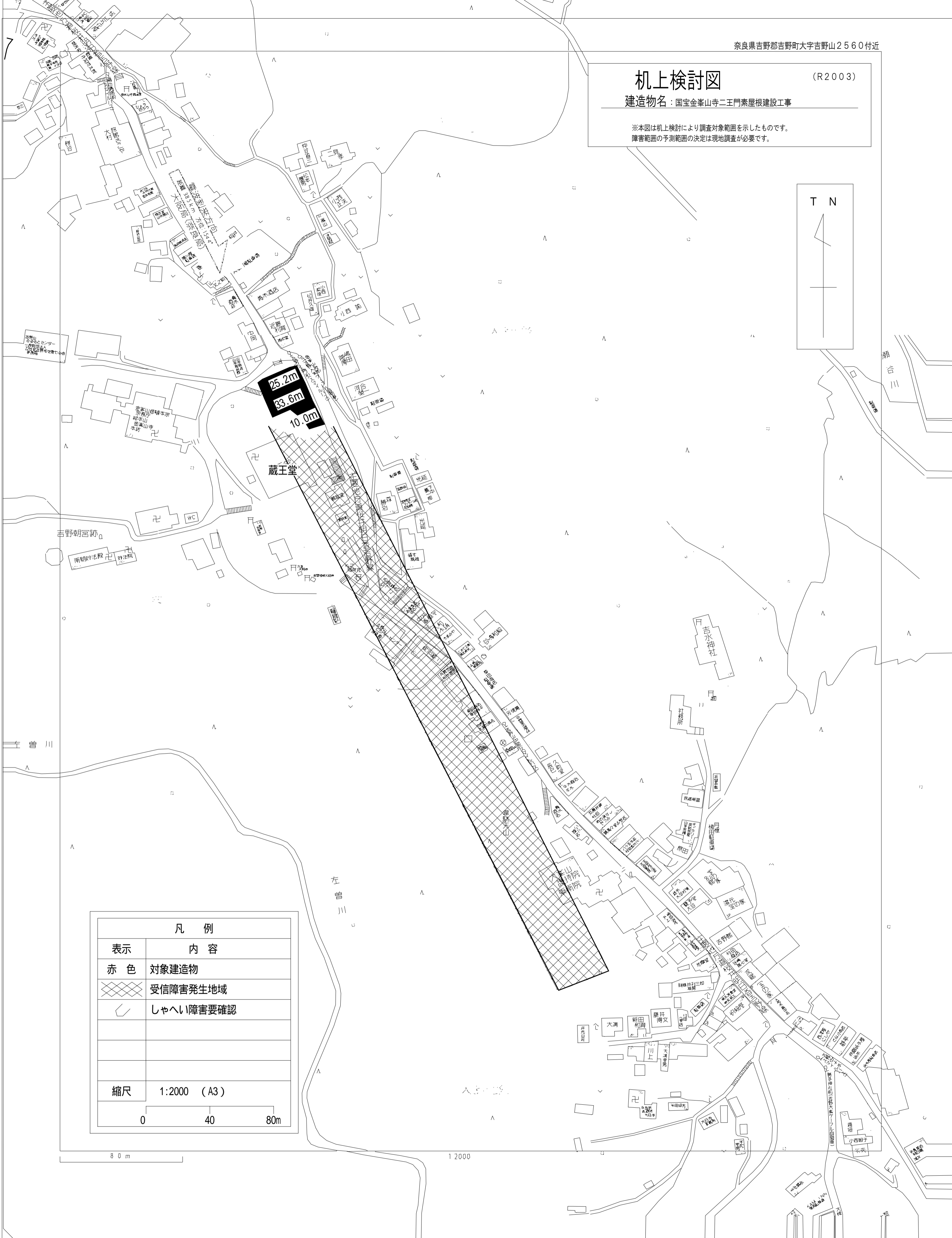
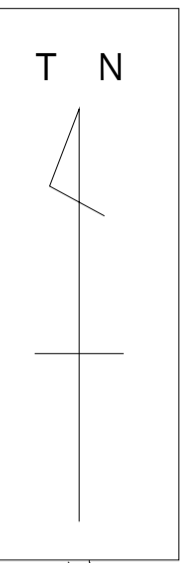
名称	国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事	縮尺	1/100 (A1) 1/200 (A3)	No.	電気 E-31
図名	機械警備設備 平面図(現況撤去)				

机上検討図

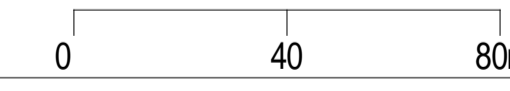
(R2003)

建造物名：国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事

※本図は机上検討により調査対象範囲を示したものです。
障害範囲の予測範囲の決定は現地調査が必要です。



凡 例	
表示	内 容
赤 色	対象建造物
斜線	受信障害発生地域
斜線	しゃへい障害要確認
縮尺	1:2000 (A3)



電波障害対応 対策内容	
1	工事前、宅内事前調査を行う。 調査対象範囲内に事前調査を行う。(路上測定+宅内受信状況調査 別途工事)
2	工事前完了時、宅内再調査を行う。 調査対象範囲内に事前調査を行う。(路上測定+宅内受信状況調査 別途工事)
3	上記の調査時に、電波障害異常があれば、下記の内容の修繕工事を行う。(別途工事)
	アンテナ方向の調整及びUHFアンテナ撤去・新設にて対応。

完成図

本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。

名称 国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事

図名 テレビ電波障害対策

縮尺

1/N(A1)
1/N(A3)

No.

電気
E-32